

に折れ曲がり、南西方向に5.3m以上延びる。南側は20号溝跡によって切られているが、おそらくここで90°に折れ曲がり北西方向に3.2mほど延びて立ち上がる。最大幅は0.8m、検出面からの深さは最大で0.4mほどある。溝の断面形は逆台形になっている。溝の北壁と西壁寄りでは非常に多くの礫がみつかっている。その状況は、溝の北壁及び西壁に貼り付けられたようなものと、溝内に流入する状態のものの2種類が確認された。流入したものについても、溝の北側から転落するような状況が見て取れることから、溝のより北側に石を貼り付けた埴丘状の施設が存在した可能性が考えられる。

堆積土は4層に分層した。 $\ell$  1は非常に多くの礫が溝の内側から流れ込むように堆積していた。 $\ell$  2は溝の外側から流入するように堆積している層で、L IV aとみられる小土塊が含まれている。 $\ell$  3は溝の内側の壁に沿って堆積する層である。 $\ell$  4は部分的に粗砂が少量含まれている。堆積土に礫や小土塊が含まれていることから、人為堆積と考えている。

#### 遺 物(図76、写真55)

19号溝跡からは土師器25点、陶器1点が出土した。図76-1は陶器の常滑焼で、壺もしくは壺である。

20号溝跡からは土師器151点、須恵器2点、石製品1点が出土した。図76-2は石製品の白玉で、側面が左右非対称である。

21号溝跡からは土師器78点、須恵器1点、陶器14点が出土した。図76-3は陶器の常滑焼である。押印帯のある壺で、口唇部がつまみ上げらえている。

#### ま と め

19~21号溝跡は並行して延びることから、同一地点における溝の掘り直しと考えている。そのなかでも21号溝跡では、その北壁から西壁にかけて礫を貼り付けていた状況が想定される。

19~21号溝跡の時期は出土遺物から中世を考えている。

(吉野・神林)

## 第7節 祭 祀 跡

調査区北部から祭祀跡を3箇所確認した。その状況は土師器を人為的に配置し、石製模造品や土玉が土出していることから、祭祀跡とした。3号祭祀跡が最も規模が大きい。

#### 1号祭祀跡

##### 遺 構(図77、写真43)

1号祭祀跡は調査区北西端部のB 2グリッドに位置し、検出面はL IV aの上面である。重複する遺構はなく、西側に3号祭祀跡、東側に1号烟跡が隣接する。

本遺構は重機による表土掘削作業中に、完形の土師器が複数出土したことで認識された。当初は堅穴住居跡などの可能性を想定して周辺を精査したが、掘り込みやカマドなどの痕跡は一切認めら

## 第7節 発 祀 跡

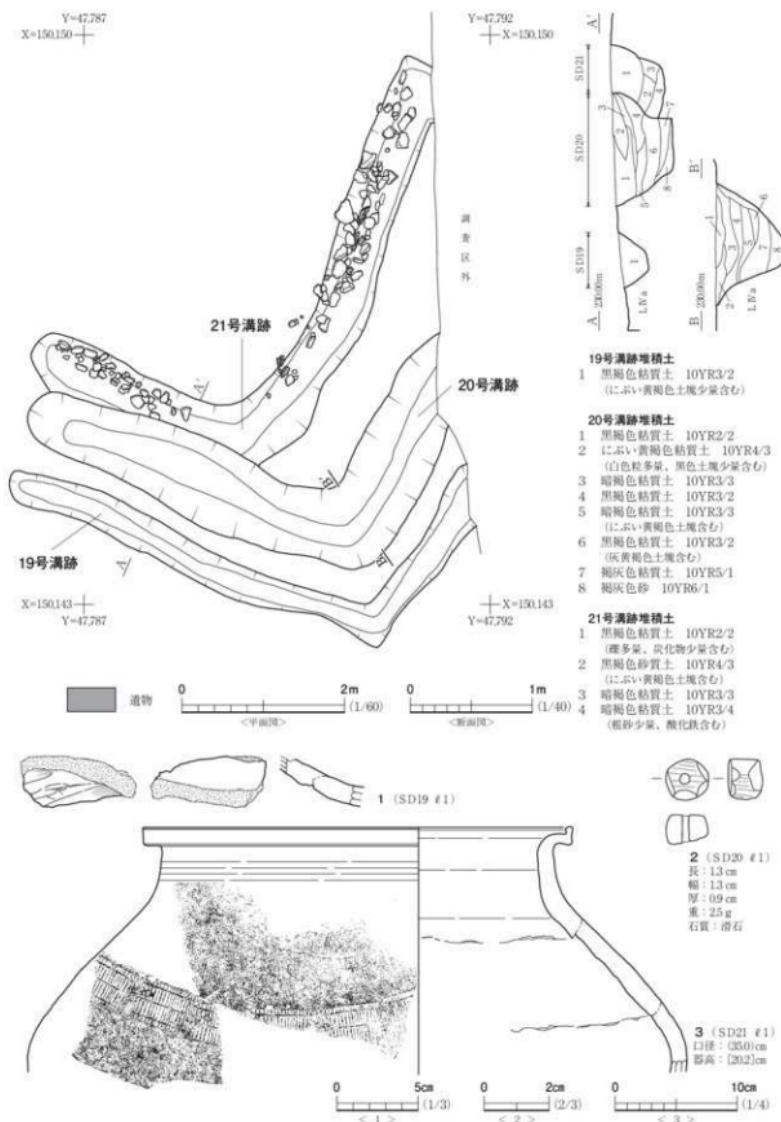


図76 19~21号溝跡・出土遺物

れることから、土師器がそのままLIV a上面にまとめ置かれたものと判断した。

土師器は東西11m、南北0.5mの範囲から出土した。出土した土師器は杯がほとんどで、多くは2~3点1組が正位の入れ子状態で、南北1列ずつ東西方向に並べられていた。出土した土師器は土圧や、表土掘削時の影響で一部が割れたものもみられたが、比較的良好に形を保った状態であった。

南列は西から、①正位で置かれた深めの土師器杯1点(図78-11)、②正位で置かれた入れ子状態の土師器杯2点(図77-4・6)、③正位で置かれた入れ子状態の土師器杯3点(図78-1・3・9)+逆位で土師器杯上に置かれた粗製杯2点(図78-13・15)、④正位で置かれた入れ子状態の土師器杯3点(図77-2・5、図78-10)+土師器杯1点(図78-4)上に置かれた円盤状の扁平な礫(図78-17)、というように配列されている。このうち①の内部からは非常に細かい粒状の鍛治滓が出土しており、土器を置く際に入れられたものと思われる。

北列は西から、⑤正位で置かれた土師器甕の胴部から底部1点(図78-16)、⑥正位で置かれた小型鉢(図78-12)+鉢から転落したような状態の粗製杯(図78-14)、⑦やや深めの土師器杯1点(図77-1)、⑧正位で置かれた土師器杯1点(図77-3)+そこから動いたとみられる土師器杯1点(図78-7)、という配列となっている。このうち⑥の図78-14の内部からは粒状の鍛治滓が出土しており、土器を置く際に入れられたものと思われる。

#### 遺 物(図77・78、写真56)

遺物は土師器273点、土製品1点、鍛治滓3点、礫1点が出土した。

図77-1~6、図78-1~11は土師器杯である。図77-2~6、図78-1~5・7~9の器形は、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。図77-1~6、図78-1~9・11の底部は丸底である。その他の器形は、図77-1では口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられない。図78-11では口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられる。図77-1~6、図78-1~6の内面にはヘラミガキ・黒色処理が、図78-7~11の内面にはヘラミガキが施されている。土師器杯の色調の多くは黄褐色系であるが、図78-8が赤褐色、図78-9・11が明赤褐色となっている。

図78-12は土師器の小型鉢である。底部外面には木葉痕とそれをスリ消したヘラケズリがみられ、中央部に压痕による窪みがみられる。

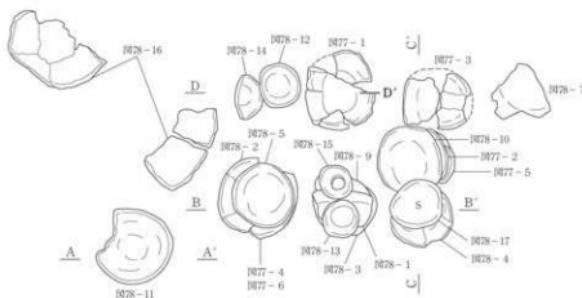
図78-10・13~15は粗製杯である。10・13・14には木葉痕がみられる。色調は10・13がにぶい黄褐色、14が明赤褐色、15が赤褐色である。

図78-16は土師器甕で、内外面ともにヘラナデが施されている。

図78-18は土玉で、焼成前の穿孔が施され、側面は非対称となっている。図78-17は扁平な礫で、図78-4の上に置かれた状態で出土したことから、本遺構を構成する遺物として取り上げて図示した。

#### ま と め

1号祭祀跡は1.1m×0.5mと狭い範囲に、複数の土器を意図的に遺棄した遺構である。出土した

Y=47.780  
X=150.1745Y=47.781  
X=150.1745

1号祭祀跡

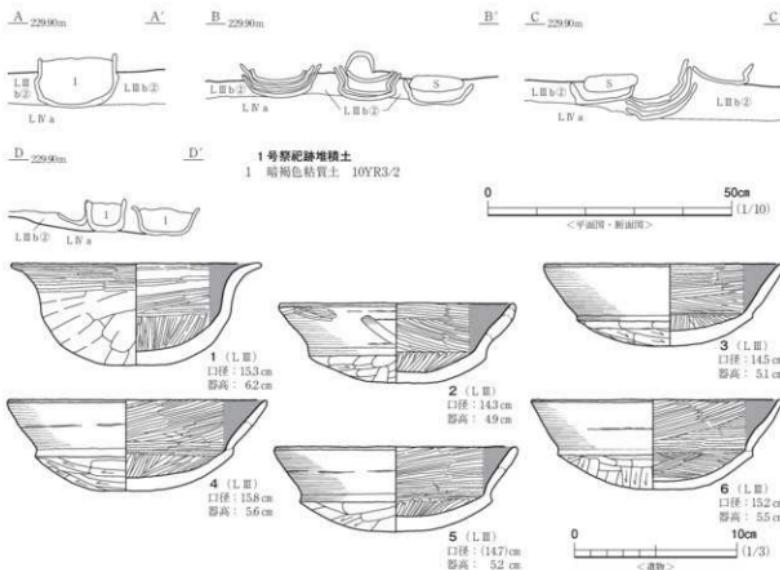
X=150.1735  
Y=47.780X=150.1735  
Y=47.781

図77 1号祭祀跡・出土遺物

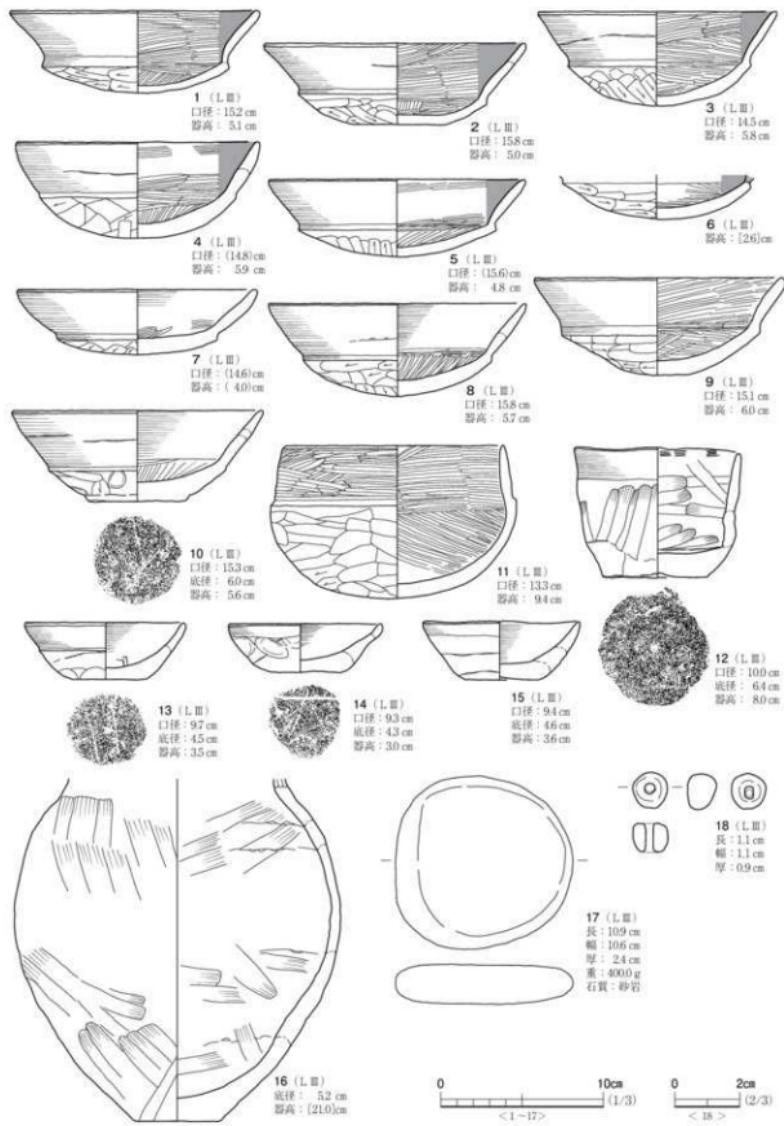


図78 1号祭祀跡出土遺物

土師器は杯や鉢と、いった小型の器種が多く、杯は正位で2~4点重ねられ、さらにその上に粗製杯や円盤状の扁平な丸石が置かれている。比較的深さのある土器の内部には鍛冶溝が入れられており、祭祀の際に用いられた奉納品である可能性も考えられる。

本遺構の年代は、出土した土器の様相から7世紀前半ごろと考えらえる。(吉野・神林)

## 2号祭祀跡

### 遺構 (図79、写真43)

2号祭祀跡は調査区北部のB6グリッドに位置する。第1遺物包含層と重複し、新旧関係は不明である。本遺構は、土師器杯・壺・甕と土製品が置かれていたことから祭祀跡とした。本遺構の範囲は東西1.05m、南北0.42mである。遺存状態が良好ではなく、図79-1・5・8などの杯が正位で置かれ、それ以外の土師器・土製品は破片の状態でLII・IVから出土した。なお、図79-6は、底部を打ち欠いていた。

### 遺物 (図79・80、写真57)

2号祭祀跡からは土師器302点、土製品1点、かわらけ1点が出土した。

図79-1~9は土師器杯である。器形をみると、1~3は口縁部が外反し、4~9は口縁部が外傾する。4・7・8は口縁部と体部の境に段がみられる。1・3・7・8の底部は丸底で、4・5は平底である。調整をみると、1~3・5の内面にはヘラミガキ・黒色処理が、4・6~9の内面にはヘラミガキが施される。1・2・7は外面にもヘラミガキが施されている。色調をみると、杯の多くは黄褐色系で、4・6・8は赤褐色である。

図79-10は土製品のミニチュア土器である。口縁部と体部は直立気味に立ち上がり、底部は平底である。

図80-1は土師器壺である。口縁部は外傾し、頸部には沈線が巡り、胴部は球形をなす。口縁部はヨコナデ、内面にはヘラミガキも施されている。胴部は外面では上半にヘラミガキ、下半にヘラケズリ、内面ではヘラナデが施されている。

図80-2~6は土師器甕である。1は胴部下半から底部で、内外面にハケメが施され、外面が継方向、内面は横方向となっている。3~5は底部である。3は丸底で、4・5は平底である。3・4は外面がヘラケズリ、内面ヘラナデが施されている。4は底部外面にヘラナデが施されている。6は胴部上半で、外面はハケメ、内面はヘラナデが施されている。

図80-7はかわらけの小皿で、手づくね成形である。

### まとめ

2号祭祀跡は3号祭祀跡と比べると小規模な祭祀跡で、遺存状態も悪かった。土玉や石製模造品などは出土していないが、土製品や底部を打ち欠いた土師器杯などが出土している。本祭祀跡の時期は、出土遺物から6世紀後半と考えている。(吉野)

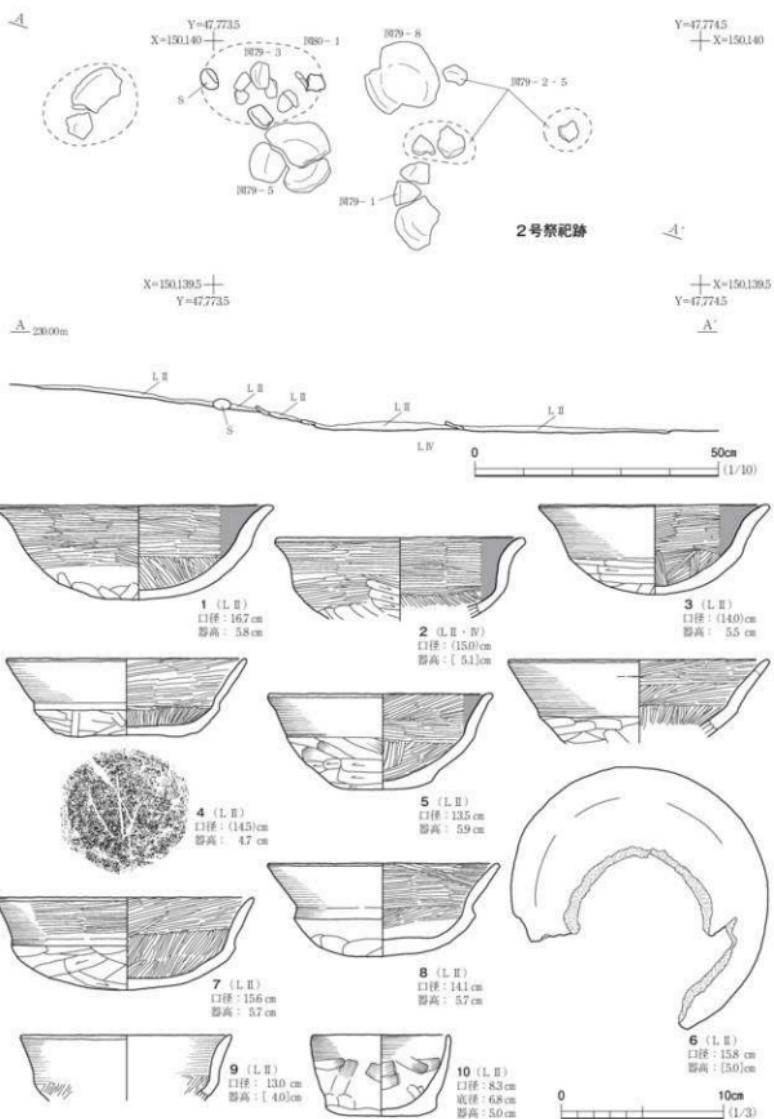


図79 2号祭祀跡・出土遺物

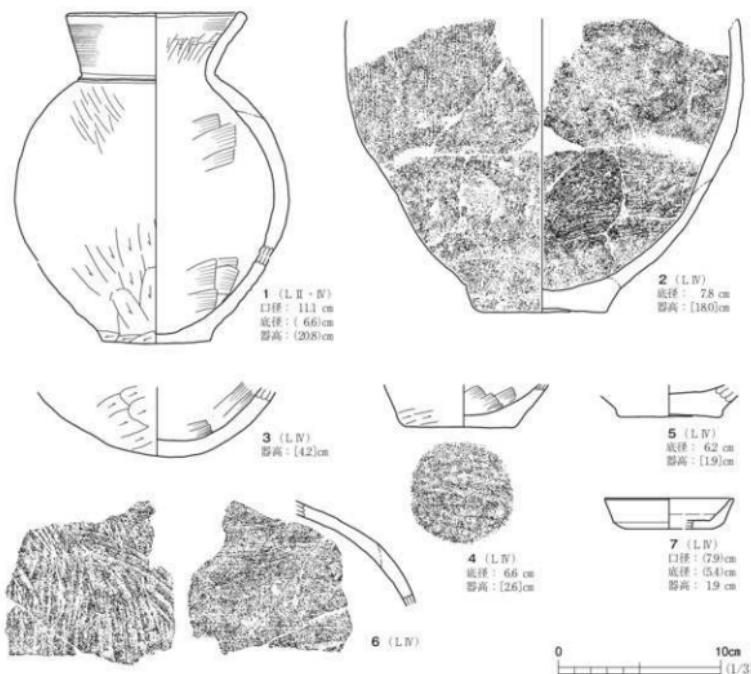


図80 2号祭祀跡出土遺物

## 3号祭祀跡

## 遺構(図81~83、写真44・45)

調査区南端部のA・B 2グリッドに位置する。重複する遺構は無く、東側に1号祭祀跡、1号塚跡が隣接している。

表土除去作業中に、完形の土師器やそれに接するような礫が複数検出された。当初、竪穴住居跡などの可能性を想定して周辺を精査したが、掘り込みなどは認められず、土器がそのままL III b①・②、L IV a上面にまとめ置かれたものと判断した。なお、遺物についてはL III一括で取り上げた。

遺物は東西6.6m、南北8.4mと比較的広範囲にわたって出土した。出土状況から、調査区西壁より外側にも広がっていると思われる。なかでも図83の中央部分では、土師器壺・甕が正位または横転したような状態でまとめ置かれた様子が確認された。

一方、この土師器甕の周縁部では、土師器杯の出土が目立つ(図82)。さらに、土製品や石製模造品などが土師器杯・壺・甕に混じって出土している。

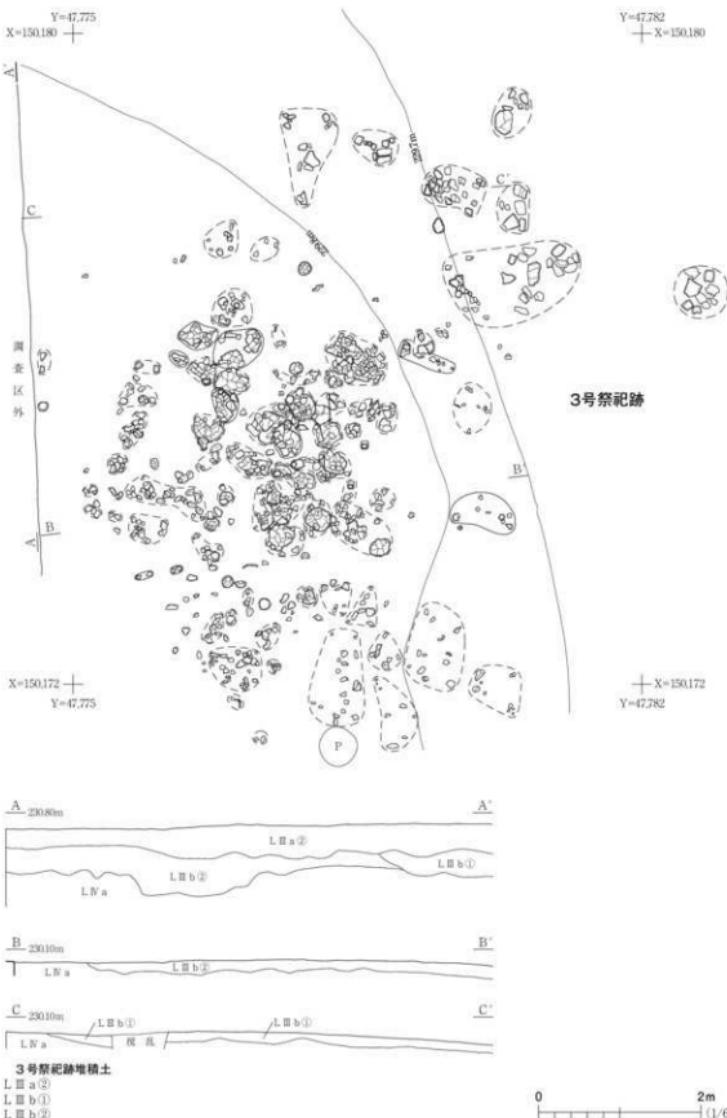


図81 3号祭祀跡

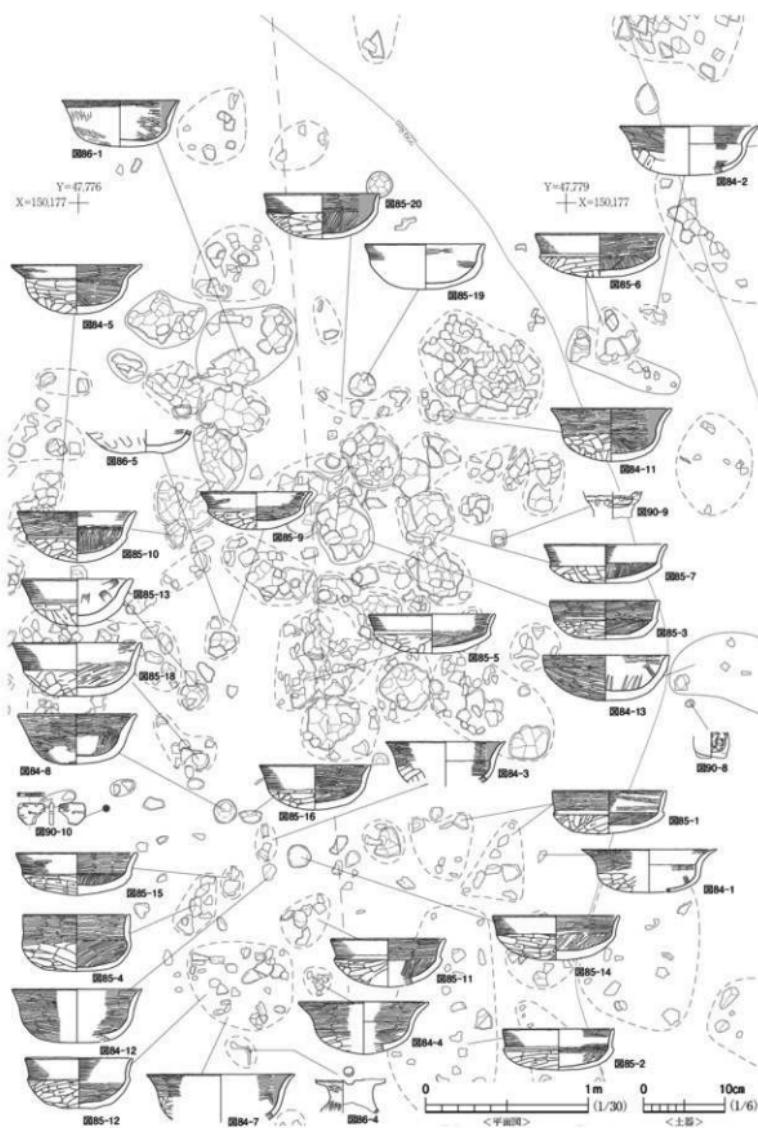


図82 3号祭祀跡遺物出土状況（1）

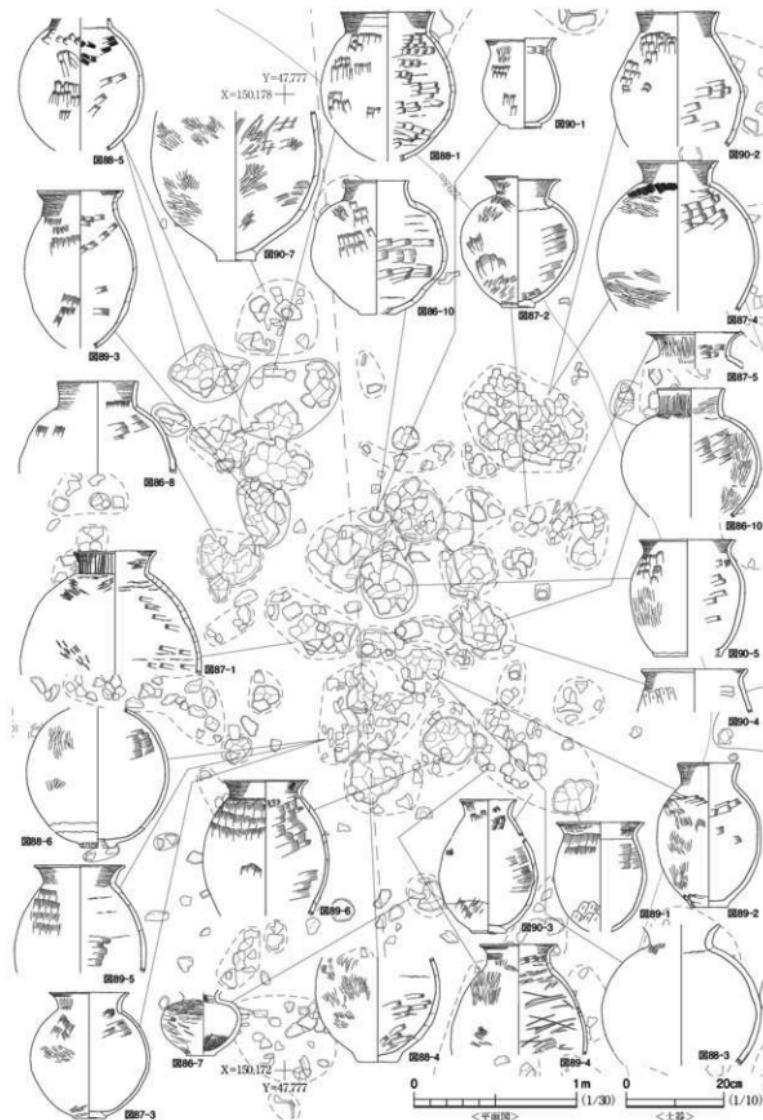


図83 3号祭祀跡遺物出土状況（2）

## 遺物(図84~90、写真57~60)

遺物は土師器7,895点、須恵器1点、陶磁器7点、弥生土器11点、土製品2点、石製品1点、鉄製品3点が出土した。

図84・85、図86-1~3・5は土師器杯である。杯の器形をみると、図84-1~4・7・9 11・12、図85-17は口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられない。図85-1~3は口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられる。図85-5~15・18・20は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。図85-16・19、図86-1は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられない。図85-4は口縁部がやや長く直立し、口縁部と体部の境に段がみられない。

杯の調整をみると、内面では、ヘラミガキが一様に施されているが、図85-13・図86-3・5ではヘラナデが施されている。さらに、内面の黒色処理は、図84-3・7・9・11、図85-8・17・20、図86-1・2に施されている。

外面では、図84-1~4・6・7・9・10・11・14、図85-1・3・4・10の口縁部にヘラミガキ、体部にヘラケズリが施されている。図84-8・12・13は口縁部から体部にかけてヘラミガキが施されている。図85-2・5~9・11~18・20、図86-2は口縁部にヨコナデ、体部にヘラケズリが施されている。

杯の色調は、図84-1~5・8・11~14、図85-2・4~12・14・16・18~20は赤褐色で、それ以外は黄褐色系である。図85-6の底部内面、図84-9、図85-8、図86-5の底部外面には線刻が施されている。図84-8の底部の一部は打ち欠かれている。

図86-4は高杯で、杯部の中央に円形の圧痕が、外面にヘラミガキが施される。

図86-6~10、図87、図88-2~4・6、図89-2・4、図90-7は土師器壺である。図86-6・7は小型壺で、6では口縁部は直立し、胴部は球形を呈する。調整は、外面はヘラミガキ、内面はヘラナデが施されている。7の頸部は屈曲し、胴部は中程で張り出す。内外面にヘラナデ、ヘラミガキが施されている。図86-9・10は口縁部が直立し、胴部が球形を呈する。9・10は口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施される。10は口縁部にヘラミガキ、胴部は内面でヘラナデ、ヘラミガキが施される。図87-1の口縁部は外傾し、胴部は長胴を呈する。図87-2~4の口縁部は外傾し、胴部が球形を呈する。図87-1~3・5は口縁部にヨコナデ・ヘラミガキ、1~3の胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施されている。図87-4は口縁部にヨコナデ、胴部外面にハケメ・ミガキ、胴部内面にヘラナデが施される。図88-2の口縁部は外傾し、胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ、胴部は内外面ヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。図88-3の口縁部は屈曲し、胴部は球形を呈する。器面は摩滅し、頸部外面にヘラミガキが施されている。図88-4の胴部は長胴を呈し、外面にヘラミガキ及びヘラナデ、内面にヘラナデが施される。図88-6の胴部は球形を呈し、外面はヘラミガキ、内面はヘラナデが施される。図89-2の口縁部は外傾し、胴部は長胴を呈する。口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキ、底部外面にヘラナデが施される。図89-4の口縁部は外反し、胴部は長胴を呈する。口縁部にヨコナ

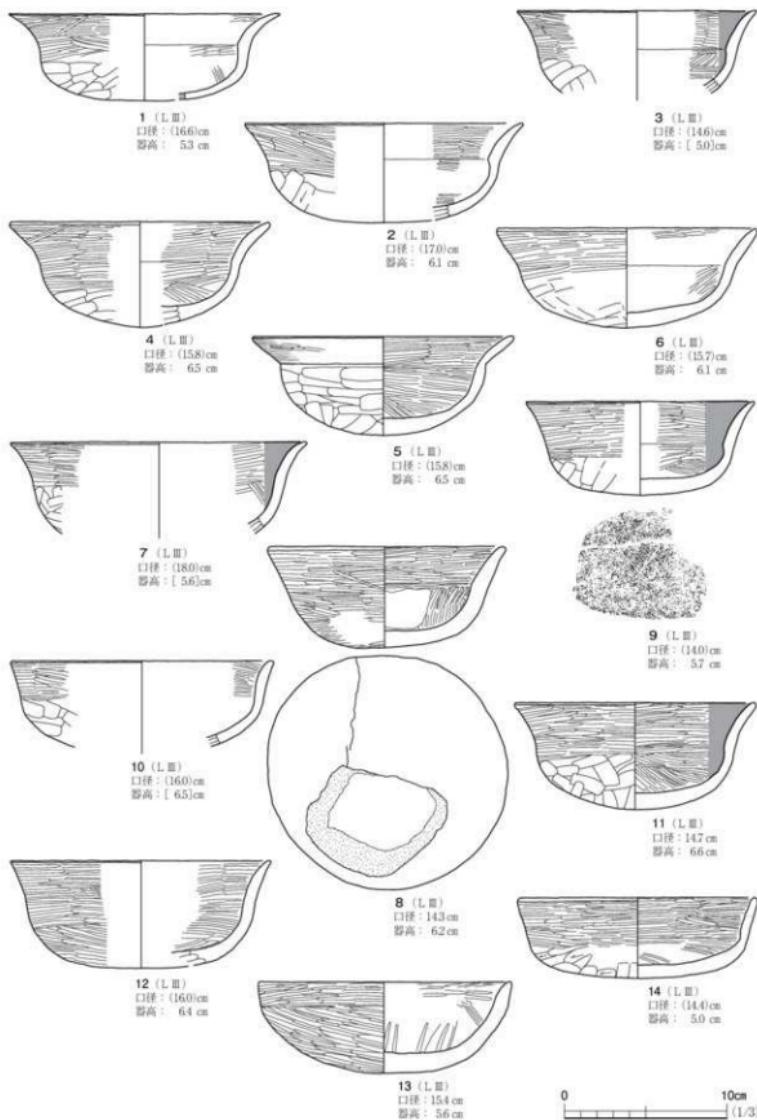


図84 3号祭祀跡出土遺物（1）

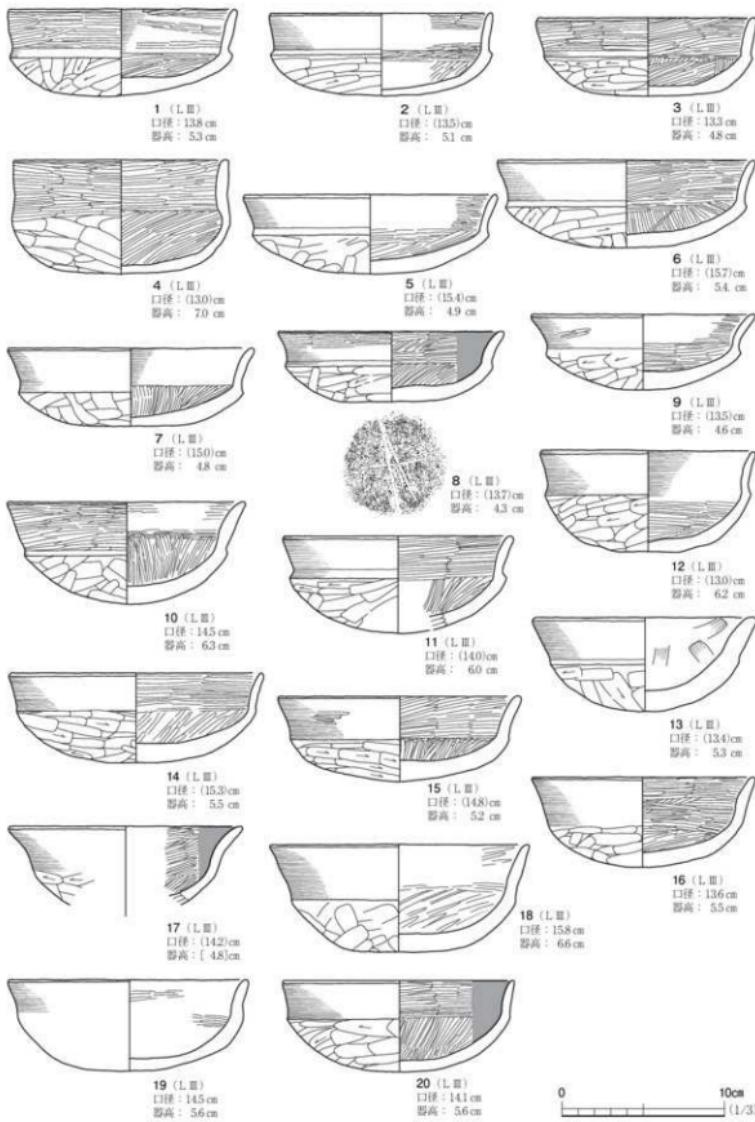


図85 3号祭祀跡出土遺物（2）



図86 3号祭祀跡出土遺物（3）

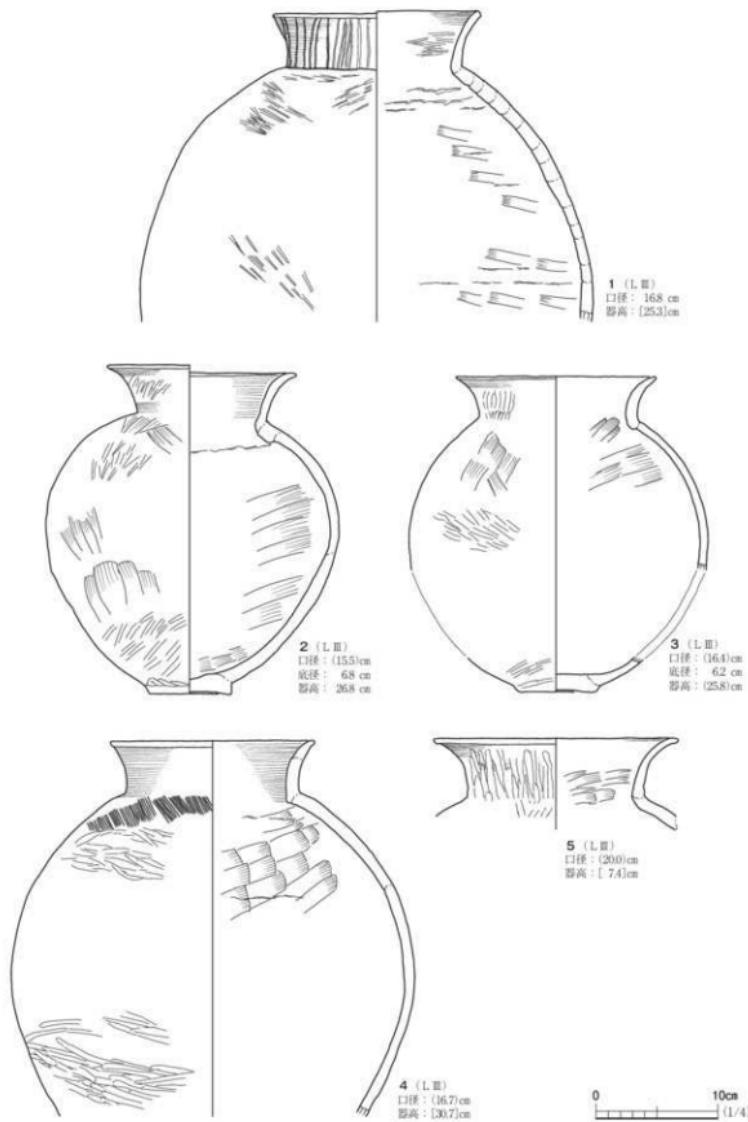


図87 3号祭祀跡出土遺物（4）

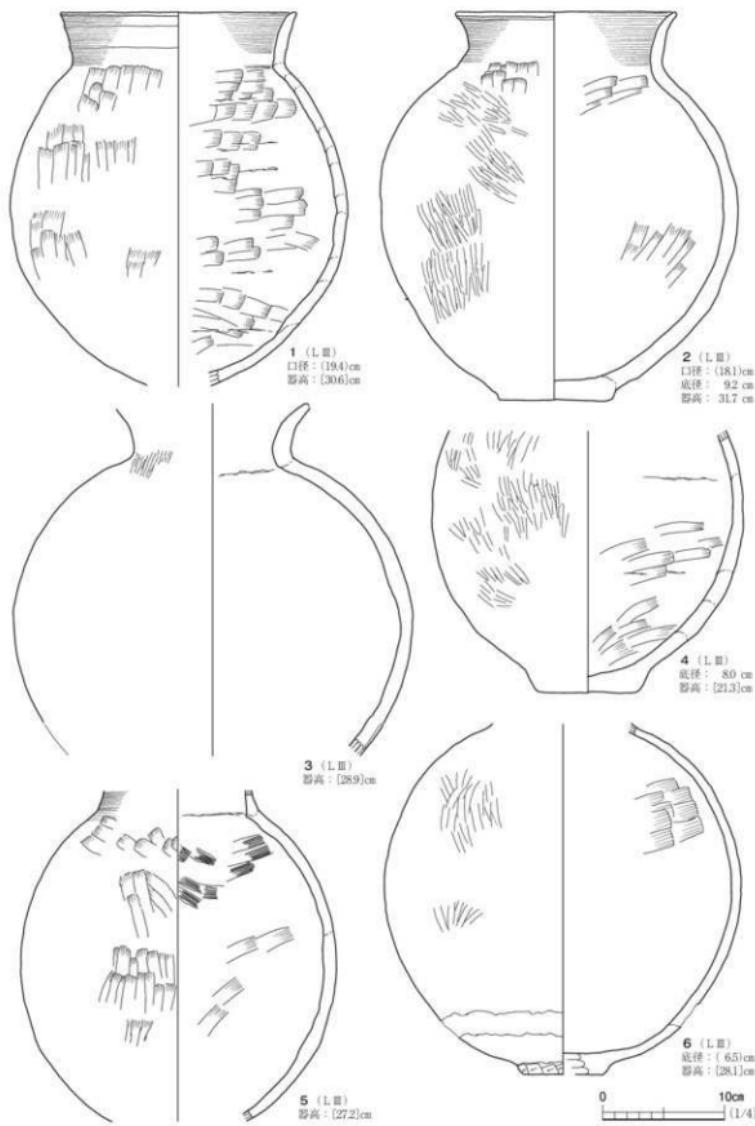


図88 3号祭祀跡出土遺物 (5)

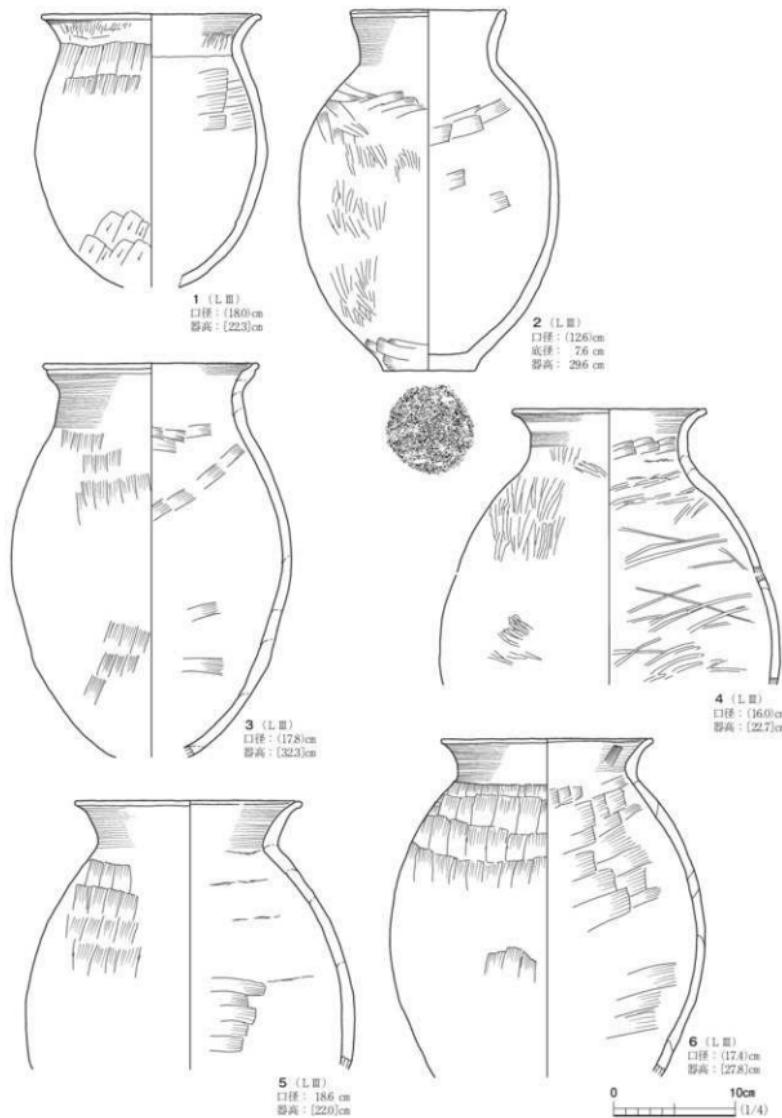


図89 3号祭祀跡出土遺物 (6)

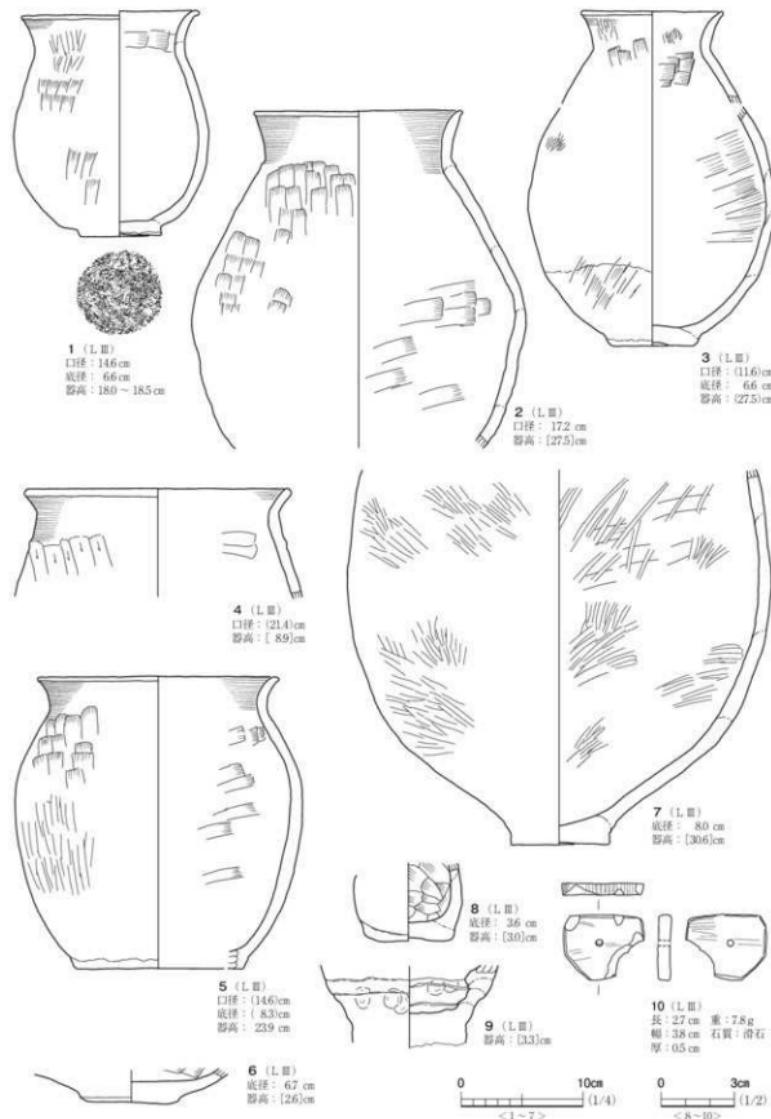


図90 3号祭祀跡出土遺物 (7)

デ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施される。図90-7は胴部が長胴を呈する。胴部にはヘラミガキが施されている。

図88-1・5、図89-1・3・5・6、図90-1~6は土師器甕である。図88-1の口縁部は外傾し、胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ、胴部は内外面ヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。図88-5の胴部は長胴を呈し、外面にヘラミガキ及びヘラナデ、内面にヘラナデが施される。

図89-1・3・5・6、図90-5の口縁部は屈曲し、胴部は長胴を呈する。口縁部はヨコナデ・ヘラミガキ、胴部はヘラケズリ・ヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。

図90-1は小型甕で、口縁部は外反し、胴部下半に最大径を有している。口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。図90-2・3は口縁部が外傾し、胴部下半に最大径を有するものである。口縁部はヨコナデ・ヘラミガキ、胴部はヘラナデが施されている。図90-4は口縁部が屈曲する。口縁部はヨコナデ、胴部はヘラケズリが施される。図90-6の底部内面にはヘラナデが施されている。

図90-8・9は土製品のミニチュア土器で、器面には指ナデや指頭圧痕などがみられる。9は高杯を模したものであろう。図90-10は石製模造品の有孔円板である。穿孔は片側方向からとみられる。

### ま と め

3号祭祀跡は調査区で確認した祭祀跡のなかで、最も規模が大きなものである。出土した土師器甕には黒色処理が施されていないものもあり、本遺跡の特徴といえよう。その時期は6世紀後半であり、出土した土器の様相から1号祭祀跡より古い時期のものと考えられる。 (吉野・神林)

## 第8節 小 穴

### 遺 構(図91~99、写真48)

小穴は1,483基を確認した。小穴の番号はグリッド毎に付けたものである。表6~15に規模、堆積土などの所見をまとめた。他の遺構と重複する小穴については、備考欄に新旧関係を古い遺構→新しい遺構とし、新旧関係が不明なものについては、重複する遺構名と重複すると明記した。

小穴は、調査区北端部と83号土坑、2号井戸跡、12・19~21号溝跡が位置する調査区北部、87~92・94号土坑が位置する調査区東端部ではみられない。83号土坑、2号井戸跡、12号溝跡が位置するのは、15号溝跡の西側である。さらに、15号溝跡の西側には、5・6号建物跡が位置しその周間に小穴が僅かながら分布している。これらの建物跡の時期は古代の頃と考えているもので、その周囲の小穴も同時期の可能性が高い。このことから、15号溝跡は区画溝としての機能を担っていたことが、小穴の分布から推測することができる。15号溝跡の東側では小穴は濃密に分布し、特にB・C 9~11グリッドに集中している。

遺構検出面はL IV a~d上面である。平面形は円形及び梢円形が多いが、隅丸方形、隅丸長方形、不整形などを呈するものもあった。小穴の径及び長軸は18~92cmの範囲であるが、概ね25~

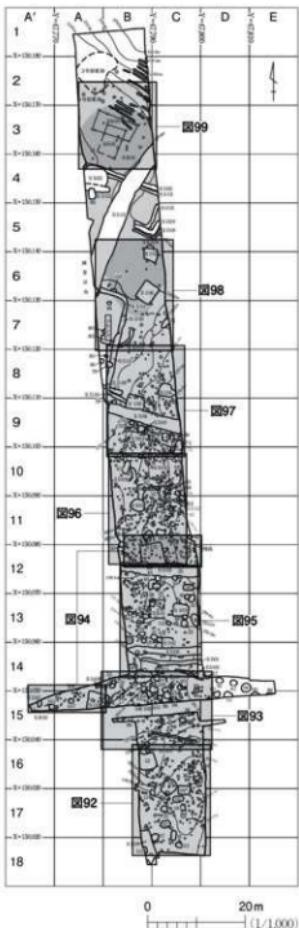


図91 小穴分割図  
の区域において、遺物が出土した小穴が分布している。

小穴から出土した遺物は土師器63点、かわらけ20点、陶器9点、青磁1点、繩文土器3点、石製品1点、鉄製品16点、古銭10点、土壁9点、鉄滓2点である。

図100-1～7はかわらけで、1・4は皿で、2・3・5～7は小皿である。1～4は手づくね成形、5～7はロクロ成形によるもので、底部外面に回転糸切り痕がみられる。なお、1の内外面

35cmのものが多い。深さは5～40cmであった。

堆積土については、ほとんどのものが砂礫を含む黒褐色砂質土の単層であった。小穴の多くは柱が抜かれた後に埋め戻されたものと推測しているが、柱痕が確認されたものもある。それは、A 2-P 3、A 3-P 1、B 2-P 4・5、B 3-P 1～4・7・11・13・14、C 11-P 13などである。このなかで、C 11-P 13の断面図を図96に、完掘写真を写真48 fに示した。C 11-P 13の柱痕は底面まで達し、小穴状に掘り込まれている。さらに、A 2・3、B 2・3グリッドに分布する小穴は、柱痕がみられるものが多い。

A 2-P 1、B 15-P 15・35、C 10-P 1・68・70、C 11-P 9・89、C 17-P 10・11・31からは、根石を確認した。このなかで、A 2-P 1の断面図を図99に、全景写真を写真48 gに示した。ℓ 1の上面に長さ48cmの礫が置かれていた。

B 16-P 5、C 10-P 67、C 12-P 11、C 17-P 57・74からは古銭が出土した。このなかでも、C 10-P 67からは底面から古銭が出土しているので、埋納などの行為がうかがわれる。その出土状況写真を写真48 eに示した。さらに、C 17-P 57からは古銭3枚とかわらけが出土している。なお、B 9-P 1、C 10-P 11・68からは焼けた土壁が出土している。

#### 遺物(図100・101、写真60)

小穴のなかで、遺物が出土したのは69基である。そのなかでも、遺物が出土した小穴が多いグリッドは、次のとおりである。B 12グリッドが6基、C 10グリッドが6基、C 11グリッドが10基、C 12グリッドが8基、C 17グリッドが7基である。調査区中央部の東側と調査区南東部

表6 小穴一覧(1)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
A 2	1	楕円形	60×50	20	+	根石	B 6	5	円形	32	35	-	
	2	楕丸形	50×48	24	-	3号加湿→P2、土細部・根石		6	円形	42	33	-	
A 3	1	楕円形	60×21	21	-	根石	B 7	1	円形	49	28	A 2	根石品
	2	円形	28	-	-	S B06と重複		2	楕丸形	54×50	10	A 2	
A 4	1	楕円形	35×28	-	-			3	円形	32	10	A 2	
	1	楕円形	45×39	18	-			4	円形	52	12	A 4	
A 14	1	楕丸形	31×24	8	-	S K107と重複、土細部		5	円形	25	21	A 1	P 5→S D17
	2	円形	25	-	-	土細部		6	円形	53	12	A 4	
	3	楕円形	30×24	8	-	S I 06→P 30→P 3、根石		7	円形	26	7	A 2	
	4	楕円形	20×17	14	A 2			8	円形	43	7	A 1	
	5	楕円形	26×19	8	A 2			9	楕円形	32×30	5	A 2	
	6	楕円形	28×15	15	A 2			10	楕円形	33×27	5	A 2	
	7	円形	28	12	A 2			11	円形	31	20	A 2	
	8	円形	25	7	A 2			12	円形	22	16	A 2	
	9	楕円形	18×17	8	A 2			13	円形	26	10	A 2	
	10	円形	22	15	A 2			14	円形	27	23	A 1	
	11	円形	32	11	A 2			15	楕円形	20×18	5	A 2	
	12	楕円形	65×45	27	-			16	円形	42	-	A 1	
	13	円形	25	8	A 2			1	楕円形	36×30	23	A 1	土壤
	14	円形	22×19	5	-			2	楕丸形	31×30	17	A 2	S 105→P 2
A 15	15	円形	46	9	A 1			3	長方形	51×40	5	A 1	S 105→P 3
	16	円形	53	8	A 1			4	楕丸形	30×27	11	A 2	S 105→P 4
	17	楕円形	28×23	-	-	P 16→P 17		5	円形	36	12	A 1	
	18	円形	22	10	-			6	楕丸形	27×26	15	A 2	
	19	円形	28	12	-			7	楕円形	36×30	10	A 1	
	20	円形	21	8	-			8	楕円形	26×22	5	A 1	
	21	円形	27	10	-			9	楕円形	30×27	5	A 1	P 9→P 10
	22	楕円形	27×22	6	A 1			10	円形	40	13	A 2	P 9→P 10
	23	円形	28	12	-			11	円形	25	9	A 1	
	24	円形	25	7	A 1			12	円形	36	19	A 1	
	25	楕円形	27×25	5	A 1			13	円形	29	13	A 1	
	26	楕円形	28×25	13	A 2			14	楕丸形	27×23	10	A 1	
	27	円形	25	5	A 1			15	円形	27	15	A 2	
	28	楕円形	29×24	7	A 2	P 28→S I 08	B 8	16	楕円形	33×28	6	A 1	
A' 15	29	楕円形	31×24	10	-			17	楕円形	31×30	30	A 1	
	30	円形	58	30	A 2	S I 08→P 30→P 3		18	円形	33	6	A 1	
	31	円形	26	10	A 2	S I 08→P 31		19	円形	20	8	A 1	
	32	円形	24	12	A 2	S I 08→P 32		20	円形	50	5	A 1	
	33	楕円形	32×27	21	A 2	S I 08→P 33		21	円形	39	7	A 1	
	34	円形	19	7	A 2	S I 08→P 34		22	円形	34	7	A 1	
	1	円形	58×53	36	-			23	円形	30	7	A 1	
	2	楕円形	36×32	-	-			24	楕円形	30×24	5	C 1	
	3	楕円形	44×34	25	-	P 3→P 4		25	楕円形	22×16	15	A 1	
	4	楕円形	42×30	-	-	P 3→P 4、柱根		26	楕円形	32×25	5	A 2	
	5	楕円形	36×32	-	-	柱根		27	円形	30	7	A 1	
	6	円形	35	35	-	S B06と重複		28	円形	29	5	C 1	
	7	楕円形	33×24	-	-	S B06と重複、柱根		29	楕円形	24×22	10	A 2	
B 2	8	楕円形	37×45	-	-			30	円形	36	15	A 2	C 5 P 6→P 30
	9	円形	55×42	-	-			1	円形	22	10	A 4	P 1→P 2、土壤
	10	円形	55×42	-	-			2	円形	30	22	A 2	S D06→P 2、土壤
	11	楕丸形	40×34	-	-			3	円形	40	25	A 4	P 3→P 4
	12	円形	32	-	-	2号加湿→P 12	B 9	4	楕円形	31×28	21	A 4	P 3→P 4
	13	楕円形	40×38	-	-	2号加湿→P 13、柱根		5	円形	34	12	A 4	S 105→P 5
	14	円形	35×28	-	-	2号加湿→P 14、柱根		6	円形	31	19	A 2	
	15	円形	25	-	-			7	楕円形	38×30	12	A 1	
	16	楕丸形	32×28	-	-			8	楕円形	31×28	7	A 1	S 105→P 8
	17	円形	37×30	-	-			9	円形	30	6	A 2	P 9→S B04
	18	楕丸形	40×34	-	-			10	楕円形	36×32	10	A 4	P 10→S B04
	19	円形	32	-	-			11	円形	23	6	C 1	
	20	楕円形	40×34	-	-			12	円形	30	8	A 2	
	21	円形	30	-	-			13	円形	42	15	A 2	S B04→P 14→P 13
	22	楕円形	35×32	10	-			14	不整地	38×32	15	A 2	P 14→S B04→P 13
	23	円形	40	24	-	P 1→S I 06		15	円形	18×10	5	A 2	P 15→P 16→P 17
	24	楕円形	43×30	8	-			16	円形	30	20	A 2	P 15→P 16
	25	円形	30	27	-			17	円形	19	10	C 1	P 15→P 16→P 17
B 4	1	楕丸形	37×30	-	-			18	円形	30	10	A 1	
B 5	1	円形	42	27	-			19	円形	29	7	A 1	
B 6	1	円形	40	24	-	P 1→S I 06		20	楕円形	36×30	10	C 1	S K74→P 20
	2	楕円形	35×32	10	-			21	円形	22	12	A 1	
	3	楕円形	43×30	8	-								
	4	円形	30	27	-								

【堆積土例】  
 A…黒褐色砂質土  
 B…黒褐色土  
 C…暗褐色土  
 1…砂礫  
 2…炭化物  
 3…砂礫・炭化物  
 4…灰土

表7 小穴一覧(2)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
B 9	22	円形	36	15	A 2	S B04と重複	33	円形	72	15	A 2	S K65→P33	
	23	円形	32	6	A 2	S B04と重複	34	円形	45	24	A 4		
	24	楕円形	32×25	15	A 1	S B04と重複	35	円形	92	~	15	A 2	一部調査区外
	25	円形	51	16	A 2	S B04と重複	36	円形	32	15	A 2		
	26	楕円形	35×30	15	A 2	S B04と重複	37	楕丸形	34×34	18	A 2		
	27	楕円形	52×42	23	A 1	S B04と重複	38	楕円形	24×20	15	A 2		
	28	円形	34	13	A 1	S B04と重複	39	円形	24	20	A 2		
	29	楕丸形	30×28	15	A 2	S B04と重複	40	円形	25	10	C 1		
	30	円形	27	15	A 1	S B04と重複	41	楕丸形	38×38	~	10	A 2	
	31	円形	21	15	A 2	S B04と重複	42	楕円形	35×32	10	C 1	S K71→P42	
	32	楕円形	92×54	15	A 1	S B04と重複	43	楕円形	28×22	10	A 4		
	33	円形	26	7	A 1	S B04と重複	44	楕円形	38×35	10	A 4		
	34	円形	33	20	A 1	S B04と重複	45	円形	30	23	A 4		
	35	円形	30	20	A 1		46	円形	20	11	A 1		
	36	円形	42	25	A 1	P36→P37	47	円形	30	18	A 4	S B03と重複	
	37	円形	30	27	A 2	P36→P37	48	円形	25	16	A 1	S B03と重複	
	38	円形	26	23	A 1		49	楕円形	32×28	8	A 2	S B03と重複	
	39	円形	30	5	A 2	S K70→P39	50	円形	36	23	A 4	S B03と重複	
	40	円形	45	14	A 2	S D04→10→P40	51	円形	26	25	A 1	S B03→04と重複	
	41	円形	35	20	A 2	S B04と重複	52	楕円形	38×35	23	A 2	S B03→04と重複	
	42	円形	30	13	A 1	S D10→P42	53	楕円形	26×24	20	A 1	S 10と重複	
	43	円形	45	30	A 1	S D10→P43→P42	54	円形	20	5	A 2	S 10と重複	
	44	楕円形	57×50	28	A 2	S D10→P44	55	円形	25	23	A 2	S 10と重複	
	45	円形	20	10	A 1	S D10→P45	56	円形	24	15	A 1	S 10と重複	
	46	楕円形	42×35	10	A 4		57	円形	26	10	A 1	S 10と重複	
	47	円形	32	24	A 2		58	円形	30	13	A 2	P58→S B03	
	48	楕円形	30×24	47	A 2		59	不整形	45×45	12	A 2	S B03と重複、C59→P60→P61	
	49	円形	32	20	A 2	S B04と重複	60	楕円形	38×30	15	A 2	S B03と重複、P59→P60→P61	
	50	楕円形	36×32	26	A 2	S B04と重複	61	楕円形	42×38	20	A 2	S B03と重複、P59→P60→P61	
	51	円形	30	18	A 2	S B04と重複	62	円形	25	20	A 1	S B03と重複	
	52	円形	32	8	A 2	S B04と重複	63	円形	35	7	A 1	S B03と重複	
	53	円形	36	8	A 2	S B04と重複	64	円形	30	15	C 1	S B03と重複	
	54	不整形	57×50	18	A 2	S B04と重複、P55→P54	65	不整形	20×16	9	A 4	S B03と重複	
	55	楕円形	44×38	8	A 1	S B04と重複、P55→P54	66	円形	30	10	A 4		
	56	円形	47	18	C 1		67	不整形	48×36	25	C 1	SK71→P67	
	57	楕円形	28×25	15	A 1		68	円形	40	13	C 1		
	58	円形	25	8	A 4		69	楕円形	60×41	33	C 1		
	59	円形	47	15	A 1		70	楕丸形	40×35	10	C 1		
	60	円形	22	13	A 1		71	不整形	60×55	20	A 1	S B04と重複、P71→B9P63	
	61	円形	50	11	C 1		72	円形	32	30	A 4	S B03と重複	
	62	円形	30	15	A 1		73	楕円形	46×42	~	~	S B03と重複	
	63	不整形	55×50	22	A 2	S B04と重複、B10P71→P63	74	楕円形	42×40	30	A 2	S B03と重複	
B 10	1	楕円形	55×28	26	A 4	S B03と重複、P2→P1、漢文土器	1	円形	28	7	A 1	P 2→P 1、鉄製品	
	2	楕円形	34×26	15	A 1	S B03と重複、P2→P1	2	楕円形	54×44	10	A 1	P 2→P 1	
	3	楕丸形	52×50	17	A 1	S B03と重複	3	楕丸形	34×32	12	A 2		
	4	楕円形	26×20	15	A 2	S B03と重複	4	円形	30	10	A 1		
	5	楕円形	32×28	12	A 2	S P→P5	5	楕丸形	32×30	15	A 2		
	6	楕円形	32×28	9	A 1		6	楕丸形	38×36	20	A 4		
	7	楕円形	40×36	14	A 2		7	楕円形	34×30	26	A 1		
	8	円形	36	16	A 2	P8→P9	8	楕円形	36×25	17	A 2		
	9	楕円形	40×30	12	A 2	P8→P9	9	楕円形	30×28	10	A 1		
	10	楕円形	24×20	18	A 4	P10→P11→S K62	10	楕円形	38×26	10	A 1		
	11	楕円形	84×66	15	A 4	P10→P11→C10P12→S K62	11	楕丸形	42×38	18	A 2		
	12	楕円形	48×45	15	A 4		12	楕円形	48×40	12	A 1		
	13	楕円形	32×27	15	A 4		13	円形	25	~	A 1		
	14	円形	30	15	A 5		14	楕円形	55×45	13	A 2		
	15	不整形	40×30	13	A 4		15	円形	40	35	A 1		
	16	楕円形	36×30	12	A 1		16	円形	52	15	A 4		
	17	円形	42	5	A 1		17	楕円形	32×41	15	A 1		
	18	楕円形	30×25	7	A 1	S K69→P18	18	円形	27	10	A 2	P19→P18	
	19	円形	34	9	A 1	P19→P20	19	円形	32	5	A 1	P19→P18	
	20	円形	35	15	A 4	P19→P20	20	不整形	25×20	25	A 2	P21→P22→P20	
	21	円形	48	4	A 1	P19→P20	21	円形	28	25	A 2	P21→P20	
	22	円形	44	15	A 2		22	楕円形	26×20	15	A 2	P22→P20	
	23	楕円形	30×25	10	A 1		23	円形	30	15	A 1		
	24	楕円形	32×32	10	A 1		24	円形	30	20	A 2		
	25	不整形	44×36	9	A 1		25	不整形	36×22	10	A 2		
	26	楕円形	30×26	12	A 1		26	円形	54	26	A 2		
	27	楕丸形	22×18	8	A 1		27	楕円形	56×40	22	A 1		
	28	楕円形	34×30	36	A 2		28	楕円形	32×28	10	A 1		
	29	楕円形	30×28	12	A 1	P29→P30	29	楕円形	28×26	15	A 1		
	30	円形	36	15	C 1	P29→P30	30	楕円形	36×22	15	A 1		
	31	楕円形	46×34	8	A 1		31	楕円形	48×35	20	A 1		
	32	楕円形	50×40	10	A 1		32	楕円形	45×36	16	A 1		
							33	楕円形	55×50	26	A 1		

表8 小穴一覧(3)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	34	円形	30	18	A.2			14	円形	25	10	A.1	
	35	橢円形	32×30	15	A.1			15	円形	22	10	A.1	
	36	橢円形	30×25	15	A.1			16	橢円形	29×25	14	A.1	
	37	橢円形	25×20	13	A.1			17	円形	16	10	A.1	
	38	円形	44	25	A.1			18	円形	31	10	A.4	
	39	橢円形	26×23	10	A.1			19	円形	23	20	A.1	
	40	円形	25	15	A.2			20	橢円形	43×30	10	A.1	
	41	不規則形	46×31	26	A.1			21	円形	28	22	A.4	
	42	橢円形	30×22	20	A.2			22	橢円形	44×27	5	A.1	
	43	円形	33	18	A.4			23	橢円形	38×22	5	A.1	
	44	橢円形	30×25	15	A.2			24	円形	24	10	A.4	
	45	円形	20	12	A.1			25	橢円形	49×35	18	A.1	
	46	橢円形	36×30	20	A.2	P47→P46		26	橢円形	50×33	20	A.4	
	47	橢円形	28×22	32	A.2	P47→P46		27	円形	18	25	A.1	
	48	扇え方形	34×36	15	A.1			28	橢円形	34×28	20	A.1	
	49	方形	26×25	15	A.1			29	扇え方形	49×31	20	A.4	
	50	円形	44	23	A.2	S E01→P50		30	円形	21	10	B	
	51	円形	28	24	A.1			31	円形	21	13	B	
	52	円形	26	15	A.1			32	橢円形	27×20	10	B	
	53	円形	32	12	A.1			33	橢円形	23×17	19	B	
	54	円形	38	25	A.1			34	円形	36	15	A.1	P34→P1
	55	円形	25	10	A.1			35	円形	25	30	A.1	S D09→P35
	56	円形	30	15	A.1			36	橢円形	48×29	30	A.1	S D09→P36
	57	橢円形	32×28	30	A.1			37	円形	31	12	C	
	58	円形	50×36	10	A.1			38	円形	30	14	A.1	
	59	円形	40	15	A.1			39	円形	18	5	A.4	
	60	橢円形	30×20	10	A.1	P60→P61		40	円形	40	12	A.1	P40→P41
	61	橢円形	34×30	10	A.1	P60→P61		41	円形	31	20	A.1	P40→P41
	62	橢円形	38×30	25	A.1			42	円形	24	10	A.2	
	63	橢円形	40×34	10	A.1			43	円形	35	20	A.2	
	64	橢円形	32×25	18	A.1			44	円形	27	10	C	
	65	橢円形	37×29	18	A.1	S K51→P65		45	橢円形	44×39	40	A.1	
	66	扇え方形	50×35	20	A.2	S K51→P66		46	円形	33	12	C	
	67	円形	40	23	A.1			47	円形	32	30	A.4	
	68	円形	20	10	A.1			48	扇え方形	80×71	25	A.2	P48→P49・P50・P51
	69	円形	36	20	A.1			49	円形	21	10	A.1	P48→P49、かわらけ
	70	橢円形	35×20	15	A.1			50	円形	25	20	A.1	P48→P50
	71	円形	50	15	A.1	C11P62→P71		51	橢円形	27×24	30	A.1	P48・P52→P51
	72	橢円形	45×42	23	A.2			52	円形	27	17	A.1	P52→P51
	73	円形	35	10	A.1			53	円形	27	30	A.1	
	74	橢円形	30×35	15	A.2			54	円形	28	10	A.4	
	75	橢円形	30×24	10	A.1			55	扇え方形	55×38	30	A.4	
	76	扇え方形	30×25	9	A.1			56	円形	33	20	A.4	
	77	橢円形	26×24	18	A.1			57	橢円形	34×29	20	A.1	
	78	扇え方形	44×34	30	A.2	P78→P79		58	橢円形	56×45	20	B	
	79	円形	34	15	A.2	P78→P79		59	橢円形	45×39	20	A.1	P59→P60
	80	円形	22	13	A.1			60	橢円形	41×36	20	A.1	P59→P60
	81	不規則形	40×34	25	A.2	P81→P82		61	円形	32	15	A.1	
	82	円形	36	15	A.1	P81→P82		62	円形	35	20	A.1	
	83	円形	30	15	C.1			63	橢円形	28×25	10	A.4	P63→P64
	84	橢円形	38×35	15	A.1	P84→P85		64	橢円形	50×45	40	A.1	P63→P64
	85	橢円形	32×20	15	A.1	P84→P85		65	円形	32	10	A.4	
	86	橢円形	30×35	15	A.1			66	円形	36	10	A.4	
	87	不規則形	46×44	25	A.1			67	円形	29	20	A.1	
	88	橢円形	44×40	15	A.1	P88→P89		68	扇え方形	23×21	16	A.1	
	89	円形	46	30	A.1	P88→P89		69	円形	22	10	A.1	
	90	円形	42	30	A.4			70	橢円形	40×34	20	A.1	
	91	円形	30	12	C.1			71	円形	26	8	A.1	
	92	円形	32	15	A.1			72	橢円形	29×24	16	A.1	
	93	円形	28	5	A.1			1	円形	31	15	A.1	P2→P1、陶器
	94	橢円形	28×22	5	A.1			2	橢円形	57×41	15	A.1	P2→P1
	1	橢円形	47×38	34	A.1	P34→P1、瓦製品		3	円形	25	10	A.1	S B09と重複
	2	橢円形	50×35	10	A.1	S I01→P2、土師器		4	橢円形	65×48	20	A.2	S B09と重複
	3	円形	31	10	A.4	S I01→P3、土師器・瓦製品		5	円形	25	15	A.1	S B09と重複
	4	橢円形	28×30	10	A.1	S I01→P4、土師器・瓦製品		6	橢円形	24×19	7	A.1	S B09→P6
	5	橢円形	36×28	10	A.1	S I01→P5、土師器・瓦製品		7	円形	20	14	A.1	
	6	橢円形	33×22	30	A.1	S I01→P6		8	橢円形	29×22	8	A.1	
	7	円形	32	20	A.1	S I01→P7		9	橢円形	40×35	15	A.2	
	8	橢円形	32×21	10	A.1	S I01		10	橢円形	65×44	15	A.2	P10→S K39
	9	円形	23	8	A.4	S I01		11	円形	21	6	A.2	P11→S K39
	10	円形	21	8	A.1			12	橢円形	30×25	18	A.1	
	11	円形	28	30	A.4			13	円形	31	20	A.1	P13→P15
	12	橢円形	50×33	-	A.1			14	橢円形	35×27	17	A.1	P14→P15・16
	13	扇え方形	39×33	8	A.4			15	円形	23	20	A.1	P13→P14・P15
								16	円形	21	12	A.1	P14→P16

表9 小穴一覧(4)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	埋設土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	埋設土	備考
B13	17	円形	20	9	A1		12	楕円形	37×31	23	A2		
	18	円形	26	16	A1		13	円形	29	10	A2		
	19	楕円形	29×21	14	A2		14	円形	27	10	A2		
	20	楕円形	32×23	22	A1		15	円形	31	10	A1		
	21	円形	29	15	A2		16	楕円形	32×26	10	A1		
	22	楕円形	49×44	10	A1		17	楕円形	68×47	18	A1		
	23	楕円形	24×19	24	A1		18	円形	44	15	A2	P18→P19→SK33	
	24	円形	20	30	A1		19	円形	31	15	A2	P18→P19	
	25	円形	25	15	A1	P25→P26	20	円形	31	10	A4		
	26	円形	28	15	A1	P25→P26	21	円形	25	6	A2	P21→SK33	
	27	円形	26	11	A1		22	楕円形	35×30	8	-		
	28	円形	22	8	A1		23	楕円形	33×23	15	-	P23→P24	
	29	楕丸方型	87×62	15	A2	P29→P30→P31	24	楕円形	42×33	14	-	P24→P24	
	30	円形	20	20	A1	P29→P30→P31	25	楕円形	96×79	15	A1	P25→P26→SK33	
	31	楕円形	24×19	20	A1	P29→P30→P31	26	円形	27	10	A1	P25→P26→SK33	
	32	円形	32	20	A1	P32→P33	27	楕円形	30×22	12	A4		
	33	楕円形	33×29	10	A1	P32→P33	28	円形	54	12	A2	P28→P28→SK34	
	34	円形	32	25	A1		29	楕円形	36×33	6	A2	P29→P28	
	35	円形	31	16	A2		30	楕円形	65×39	10	C1		
	36	円形	25	23	A1		31	円形	32	10	C1		
	37	円形	27	14	A2		32	円形	36	10	A1		
	38	楕円形	28×24	16	A1		33	楕丸方型	81×66	10	A2	SD02→P33	
	39	円形	22	10	A1		34	楕円形	50×43	8	A1	SD102→P34→P35	
	40	円形	26	-	-		35	円形	31	12	A1	SD102→P34→P35	
	41	楕円形	31×23	20	A1		36	円形	29	8	A2	P27→P36→SK36	
	42	楕円形	40×30	10	A1		37	円形	28	8	A4	P37→P36	
	43	楕円形	27×22	5	A1		1	円形	32	18	A2	P36→P11、土留壁	
	44	円形	24	5	A1		2	円形	23	15	A2		
	45	楕円形	25×20	12	A3		3	楕円形	32×28	-	-	P4→P5→P3	
	46	円形	28	20	A1		4	円形	29	-	-	P4→P3	
	47	円形	23	8	A1		5	楕円形	53×41	17	A4	P3→P3	
	48	楕円形	43×30	10	A1		6	円形	39	-	C		
	49	円形	23	10	A1		7	円形	29	-	A2		
	50	楕円形	51×32	25	A1		8	楕円形	28×24	-	-		
	51	楕円形	29×33	20	A1		9	円形	35	-	A4		
	52	楕円形	30×26	15	A1		10	円形	47	-	A2		
	53	楕円形	33×27	27	A2		11	楕円形	25×20	10	A2		
	54	楕丸方型	40×30	30	A2		12	円形	16	6	A2	C15P1→P12	
	55	楕円形	27×22	5	A1		13	楕円形	28×25	7	A2	P13→SK103	
	56	楕丸方型	34×27	15	A1		14	円形	16	6	A1		
	57	楕丸方型	39×27	30	A1		15	円形	39	8	A1	P16→P15、根石	
	58	円形	29	25	A1		16	円形	29	12	A2	P16→P15	
	59	円形	33	35	A2	P59→P60	17	楕円形	49×47	-	A1		
	60	楕円形	33×32	30	A2	P59→P60	18	円形	43	-	-		
	61	円形	28	5	A1		19	楕丸方型	24×21	9	A4		
	62	楕円形	34×36	15	A1	P62→P63	20	楕円形	31×24	-	-		
	63	楕丸方型	30×28	15	A1	P62→P63	21	円形	25	-	-		
	64	円形	38	15	A1		22	円形	25	-	-		
	65	円形	28	14	A1	S B01と重複、SK38→P65	23	円形	31	-	-		
	66	楕円形	49×38	12	A1		24	円形	36	12	A2		
	67	楕円形	55×41	15	A1		25	円形	37	10	A2	S 108→P25	
	68	円形	32	30	A1		26	楕円形	29×35	14	A2	S 108→P26	
	69	円形	21	20	A1		27	円形	37	10	A2	S 108→P27	
	70	円形	21	20	A1		28	楕円形	27×25	9	A2	S 108→P30→P28→P29	
	71	円形	30	20	A1	P71→P79	29	楕円形	35×32	9	A2	S 108→P28→30→31→P29	
	72	楕円形	29×25	30	C	P72→P73	30	楕円形	37×27	15	A2	S 108→P31→P30→P28→P29	
	73	楕円形	35×28	40	A1	P72→P73	31	楕円形	39×33	19	A2	S 108→P31→P29→P30	
	74	円形	41	40	A1		32	円形	30	15	A4	S 108と重複	
	75	楕円形	25×20	5	A1		33	円形	37	10	A4		
	76	楕円形	25×20	19	A1		34	円形	37	-	-	P34→S 108	
	77	楕円形	43×31	20	A1		35	円形	46	5	-	-	
	78	円形	26	15	A4		36	楕円形	41×35	14	A2		
	79	円形	31×26	30	A2	P71→P79	37	楕円形	34×29	14	A2		
	80	円形	29	20	A4		38	楕円形	30×35	10	A2		
B14	1	楕円形	77×68	13	A2	SK33→P1、調査土器・土留壁	39	円形	27	7	A2		
	2	楕円形	58×45	18	-		40	楕円形	31×36	12	A2		
	3	楕円形	59×56	20	-	P3→SK37	41	楕円形	34×28	9	A2		
	4	円形	50	24	-		42	楕円形	28×36	12	A1		
	5	円形	53	15	-		43	楕円形	38×34	20	A2		
	6	楕円形	29×23	6	A2		44	円形	27	10	A2		
	7	楕円形	37×28	11	A1	P7→B15P82	45	円形	42	9	A4		
	8	円形	110×8	15	A1	半分調査区外							
	9	楕円形	81×42	11	A2								
	10	楕円形	29×36	8	A1								
	11	不規則	37×32	14	A2								

表10 小穴一覧(5)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ(cm)	埋設土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ(cm)	埋設土	備考
	46	円形	21	9	A.2			3	円形	30	33	A.2	
	47	円形	29	10	A.1			4	楕円形	28×30	13	A.2	
	48	円形	29	8	A.2			5	楕円形	25×22	12	A.2	
	49	楕円形	24×22	10	A.2			6	楕円形	88×70	15	A.1	P.6→S.K75
	50	円形	33	10	A.2	P50→S.K77	C.7	7	円形	26	15	A.2	
B15	51	楕円形	32×24	7	A.1			8	円形	30	17	A.1	
	52	円形	31	5	A.1	B14P.7→P.92		9	円形	29	15	A.2	
	53	円形	27	9	A.4			10	楕円形	40×32	15	A.1	
	54	円形	45	20	A.2	P.55→P.57→P.94		11	円形	30	8	A.1	
	55	楕円形	32×28	15	A.2	P.1→P.55→P.94		12	楕丸形	36×24	9	C.2	
	56	円形	41	22	-			1	楕円形	32×28	10	A.1	
	57	円形	25	20	A.2	P.57→P.54		2	円形	33	15	A.1	
	58	楕円形	31×27	17	A.1			3	楕円形	56×43	23	A.2	
	59	円形	26	17	A.1			4	楕円形	48×30	30	A.4	P.4→S.104
	60	楕円形	31×29	-	A.2			5	円形	31	6	A.1	
	61	円形	28	-	A.2			6	円形	48	11	A.1	P.6→B.S.P.30
	62	円形	42	12	A.2			7	楕丸形	34×34	23	A.2	P.7→S.104
	63	楕円形	33×28	7	A.2			8	円形	30	10	A.1	P.8→S.104
	64	円形	24	15	A.2			9	円形	24	15	A.1	P.9→S.104
	65	円形	25	15	A.4			10	円形	51	15	A.2	
	66	円形	27	10	A.2			11	楕円形	40×38	15	A.2	
	67	円形	28	12	A.2			12	円形	30	26	A.2	
	68	円形	30	10	A.2			13	円形	38	20	A.1	
	69	楕円形	34×31	12	A.2			14	円形	34	15	A.1	
	70	楕円形	34×32	15	A.2			15	円形	29	15	C.1	
	71	楕円形	32×35	14	A.2	P.72→P.71→S.K103		16	楕円形	32×30	10	C.1	
	72	楕円形	37×32	12	A.4	P.72→P.71		17	円形	30	20	A.1	
	73	楕円形	44×23	-	A.2			18	楕円形	35×31	12	A.2	
	1	円形	40	16	A.1	脛骨		19	楕円形	31×30	10	C.1	
	2	楕円形	40×26	24	A.1			20	円形	31	27	A.1	
	3	円形	35	12	A.2	P.8→P.3		21	円形	31	8	A.1	
	4	楕円形	40×36	15	A.4	S.K12→P.8→P.4		22	楕円形	60×50	18	A.1	
	5	円形	32	8	A.1	S.K12→P.5、舌鏡		23	円形	31	30	A.2	施行
	6	楕円形	32×28	15	A.1	土師器		1	楕丸形	62×56	42	A.2	土器
	7	楕円形	56×46	30	A.3			2	楕円形	48×42	14	A.4	P.2→P.3、土師器
	8	円形	57	-	A.1	P.8→P.3		3	円形	40	41	A.4	P.2→P.3
	9	楕円形	38×32	10	A.1	C.6 P.1→P.9		4	円形	25	40	A.2	
	10	円形	30	11	-			5	円形	45	11	A.2	
	11	円形	30	-	-			6	楕円形	46×36	15	C.1	P.6→S.K72
	12	楕円形	28×26	-	-			7	円形	22	16	A.2	P.7→S.K72
	13	楕円形	39×36	-	A.2			8	角耳鼻孔	38×28	21	A.2	P.8→S.K72
	14	楕円形	64×48	21	A.1	S.K06→P.14		9	楕円形	38×34	35	A.2	
	15	円形	39	10	A.1			10	円形	30	40	A.2	
	16	楕円形	28×21	18	A.2			11	円形	18	20	A.2	
	17	円形	30	20	-	P.17→P.18		12	円形	35	55	A.2	
	18	円形	30	20	-	P.17→P.18		13	楕円形	52×38	25	A.1	
	19	円形	32	22	-			14	円形	20	12	A.1	
	1	楕丸形	53×46	37	A.1	P.3→P.1→P.21		15	楕丸形	35×30	42	A.2	
	2	円形	28	40	A.1			16	楕円形	28×25	6	A.1	P.16→S.K66
	3	不規形	30	-	A.1	P.3→P.1→P.21		17	楕円形	26×20	6	A.2	P.17→S.K66
	4	円形	32	43	A.1			18	楕円形	28×24	10	A.1	
	5	円形	32	20	A.1	かわらけ		19	楕円形	24×18	5	A.1	
	6	円形	32	12	A.1	P.7→P.6→P.8、土師器		20	楕円形	34×30	23	A.1	P.20→C.10 P.80
	7	円形	30	10	A.1	P.7→P.6→P.8		21	楕円形	24×18	25	A.1	
	8	楕丸形	41×41	18	-	P.6→P.8→P.9		22	円形	28	15	A.1	
	9	円形	22	15	-	P.10→P.8→P.9		23	円形	24	23	A.1	P.23→P.24
	10	楕円形	32×	15	A.2	P.10→P.8→P.9		24	円形	28	25	A.2	P.23→P.24
	11	楕円形	35×28	13	-			25	楕丸形	32×28	23	A.2	
	12	楕丸形	45×42	18	-			26	楕円形	32×30	25	A.2	
	13	楕丸形	28×25	11	-	P.14→P.13		27	円形	36	11	A.2	
	14	楕円形	30×25	10	-	P.14→P.13		28	円形	35	35	A.2	
	15	円形	25	19	-			29	円形	30	40	A.2	
	16	楕円形	36×34	17	-			30	円形	30	14	C.1	
	17	楕円形	30×20	12	-			31	楕円形	40×29	35	A.4	
	18	楕円形	33×30	18	-	P.19→P.18		32	円形	21	8	A.2	P.32→P.33
	19	楕円形	30×26	21	-	P.19→P.18		33	楕丸形	40×31	37	A.4	P.32→P.33
	20	円形	44	34	A.1			34	楕円形	58×42	22	A.2	P.33→P.35・37
	21	円形	45	-	-	P.3→P.1→P.21、鉄製品		35	楕円形	48×35	13	A.1	P.34→P.35
	22	円形	30	11	-			36	円形	36	9	A.2	
B18	1	楕円形	24×34	-	-	S.109→P.1		37	円形	32	35	A.1	P.34→P.37
C.6	1	円形	35	20	-			38	円形	32	16	A.2	
	2	楕丸形	40×33	30	-			39	円形	24	17	A.4	
	3	楕円形	48×40	20	A.1			40	円形	34	14	A.1	
C.7	1	楕丸形	30×28	3	A.1	P.1→P.2		41	円形	32	10	A.2	
	2	円形	36×28	6	A.1	P.1→P.2		42	楕円形	34×28	22	A.2	S.D04→P.42

表11 小穴一覧 (6)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
C 9	43	円形	38	15	A 2	S D04→P43	51	楕円形	24×18	8	A 1	S B03と重複、P54→P50	
	44	楕円形	60×44	25	C 1	S D04→P44	52	不整形	64×54	25	A 1	P52→S B03	
	45	楕円形	98×54	25	A 4	P45→P46	53	不整形	40×30	35	A 2	P53→P54	
	46	楕円形	50×42	25	A 2	P45→P46	54	楕円形	34×32	22	A 2	P55→P54	
	47	楕丸形	72×64	12	A 2	S 1 05→P47	55	楕円形	26×25	35	A 1	S 1 03と重複、P55→P54	
	48	円形	30	23	A 4		56	楕円形	32×28	35	A 1	S B03と重複	
	49	円形	36	18	A 2		57	楕丸形	28×26	15	A 1	S 1 03と重複	
	50	円形	45	8	C 1		58	楕円形	38×33	22	A 1	S B03と重複、P59→P58	
	51	円形	44	27	A 4		59	円形	21	10	A 1	S 1 03と重複、P59→P56	
	52	不整形	54×38	30	A 4		60	楕円形	50×40	23	A 1	S B03と重複	
	53	円形	56	9	A 4	P54→P53	61	楕円形	38×30	25	A 1	S 1 03と重複	
	54	円形	34	6	A 2	P54→P53	62	円形	26	15	A 2	S B03と重複	
	55	楕円形	50×42	12	A 2		63	楕円形	50×40	37	A 4	S 1 03と重複、P63→SK68	
	56	円形	33	20	A 2		64	楕円形	34×24	12	A 1	S B03と重複	
	57	円形	25	10	A 4		65	楕円形	60×44	12	A 2	P65→S B03・SK 68	
	58	円形	26	21	A 4		66	円形	48	36	A 2	S B03と重複	
	59	楕円形	50×42	14	A 1		67	円形	30	4	A 4	S 1 03と重複、古跡	
	60	円形	46	20	A 2		68	不整形	52×48	20	A 1	S B03と重複、土器群、土器、瓶	
	61	楕丸形	56×48	24	A 2		69	不整形	40×37	31	A 4	P69→S B03	
	62	楕円形	38×~	25	A 2	半分調査区分外	70	楕円形	36×32	7	A 2	薬石	
	63	円形	38	10	A 2		71	楕円形	18×14	8	A 2		
	64	楕円形	48×15	18	A 2	P64→P65	72	楕円形	40×37	30	A 2	P72→P73	
	65	円形	32	18	A 2	P64→P65	73	楕円形	52×50	15	A 1	P72→P73→P90	
	66	楕丸形	50×25	25	A 2		74	楕円形	~×34	18	A 2	P90→P74→P75→P76	
	67	円形	46×42	31	A 4		75	楕円形	36×32	21	A 1	P74→P75→P76	
C 10	1	円形	50	16	C 9	P 2→P 1、薬石	76	楕丸形	45×35	22	A 2	P74→P75→P76	
	2	円形	34	13	A 2	P 2→P 1、土器群	77	円形	30	20	A 1		
	3	不整形	60×50	31	A 2	S B03と重複	78	不整形	42×30	-	A 1	P78→P79	
	4	円形	30	25	A 1	S B02と重複、P4→P5、土器群	79	不整形	48×40	30	A 2	P78→P79、薬石	
	5	円形	30	30	A 1	S B02と重複、P4→P5	80	不整形	36×20	22	A 2	C93→P78→P80	
	6	楕円形	30×26	25	A 1	S B02と重複、P6→P5	81	円形	25	10	A 1	P81→P82→S K73	
	7	楕円形	28×25	25	A 1	S B02と重複	82	楕円形	44×34	30	A 4	P82→P82→S K73	
	8	円形	30	20	A 1	S B02と重複	83	円形	30	13	A 1	S K73→P83→S K72	
	9	不整形	56×47	10	A 1	P25→P26→P10-S B02、S B01	84	円形	28	10	A 1	S B03と重複	
	10	楕丸形	52×48	34	A 1	P9→P10→S B02	85	楕円形	40×36	13	C 1	S 1 03と重複	
	11	楕円形	46×46	26	A 4	S B02と重複、P9→P10、土器	86	楕丸形	30×25	10	C 1		
	12	円形	40	19	A 4	B10P11→P12	87	楕円形	38×30	12	A 2	P87→P88	
	13	円形	28	20	C 1		88	楕円形	~×66	30	A 2	P88→P88	
	14	円形	31	14	A 1		89	円形	34	14	A 2		
	15	円形	28	15	A 1	S B02と重複	90	楕円形	50×33	23	A 2	P73→P90→P74	
	16	円形	24	15	A 1	S B02と重複、P17→P16	1	楕丸形	80×65	8	A 1	土器群	
	17	楕円形	30×24	15	A 1	S B02と重複、P17→P16	2	楕円形	30×20	10	A 2		
	18	楕円形	32×28	22	A 1	P18→S K55	3	円形	31	12	A 2		
	19	円形	22	-	A 1	S B02と重複、P19→S K61	4	円形	30	8	A 1	土器群	
	20	不整形	44×40	10	A 1	S B02と重複	5	円形	29	6	A 1		
	21	円形	38	25	A 1	踏査	6	楕円形	30×25	8	A 1		
	22	楕円形	24×19	10	A 2	S B02と重複	7	円形	25	22	A 1	P10→P7→S K65、土器群、瓦器等	
	23	楕円形	40×37	33	A 4	S B02と重複	8	楕円形	30×25	15	A 1		
	24	楕円形	34×25	20	A 2	S B03と重複	9	楕円形	42×35	20	A 1	瓦石、土器群	
	25	楕円形	32×22	16	A 1	P 9→S K61	10	楕円形	34×29	15	A 1		
	26	楕円形	24×18	17	A 1	S B02と重複	11	円形	28	15	A 1		
	27	円形	40	35	A 5	S B03と重複	12	円形	34	12	A 1	瓦器品	
	28	楕円形	32×28	12	A 4		13	円形	28	40	中	柱頭 ※1096参照	
	29	楕円形	22×20	7	A 2		14	円形	28	13	A 1		
	30	楕円形	32×28	14	A 2		15	円形	32	18	A 1		
	31	楕円形	30×26	27	A 1	P31→S K56	16	楕円形	30×30	10	A 1		
	32	円形	24	27	A 1	P32→P31	17	円形	24	12	A 1		
	33	円形	30	22	A 1		18	円形	28	13	A 1		
	34	円形	34	26	A 4	S B03と重複	19	楕円形	48×31	35	A 1	土器群	
	35	楕丸形	36×30	18	A 1	S B03と重複	20	円形	25	25	A 1	P20→P19	
	36	円形	30	22	A 1	P37→P36→S B03	21	円形	20	21	A 1	瓦器品	
	37	円形	26	6	A 2	P37→P36→S B03	22	不整形	38×35	28	A 2	土器群、瓦器、瓦器、かわらけ、瓦器	
	38	楕円形	32×28	22	A 1		23	楕円形	42×35	15	A 2	土器群、瓦器、瓦器	
	39	楕円形	31×29	26	A 2		24	楕円形	35×26	15	A 2	P56→P24、土器群	
	40	円形	30	15	A 1	S B03と重複	25	楕円形	36×30	20	A 1		
	41	楕円形	28×24	26	A 1	S B03と重複、P42→P41	26	楕円形	25×22	12	A 1		
	42	円形	22	15	A 1	S B03と重複、P42→P41	27	楕円形	22×19	10	A 1		
	43	楕円形	24×20	22	A 2	S B03と重複	28	円形	34	15	A 1		
	44	円形	40×34	40	A 1	S B03と重複、P45→P44	29	楕円形	36×20	10	C 1		
	45	円形	28	45	A 1	S B03と重複、P45→P44	30	楕丸形	36×22	29	A 2		
	46	楕円形	40×34	13	C 1	S B03と重複、P51→P50	31	円形	46	30	C 1		
	47	楕円形	40×38	23	A 2	S B03と重複	32	不整形	42×28	32	C 1		
	48	円形	28	35	A 2	P48→S B03	33	円形	30	5	A 1		
	49	楕円形	40×36	8	A 2		34	不整形	54×44	20	A 1		
	50	楕丸形	30×24	22	A 1	S B03と重複、P51→P50	35	円形	24	8	A 1		

表12 小穴一覧 (7)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	埋植土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	埋植土	備考
36	円形	48×44	9	A1			111	楕丸形	28×20	16	A1	P111→S.K45	
37	楕円形	35×32	32	C2			112	円形	38	34	A2	P2→P20、かわらけ	
38	円形	32	15	A2			113	円形	32	15	A2	P113→P97	
39	円形	22	13	A1			114	楕円形	20×16	-	-		
40	円形	32	30	A1			1	楕円形	58×69	20	D	土留芯	
41	円形	30	30	A1			2	楕円形	21×18	10	C	P.2→P20、かわらけ	
42	楕円形	30×25	10	A1	P42→S.K49		3	円形	19	10	C		
43	楕円形	34×32	15	A1			4	円形	35	15	A4	土留器	
44	不規則形	35×32	30	A1	S.K46→P.44		5	円形	29	20	A1	鉄製品	
45	楕円形	20×15	15	A1	P45→P.46		6	円形	29	20	A3	同上	
46	不規則形	40×35	15	A1	P45→P.46		7	円形	24	14	A4		
47	不規則形	48×36	30	A2			8	円形	38	30	A1	土留器	
48	楕円形	34×30	12	A1			9	円形	40	25	A1	土留芯	
49	楕円形	35×28	17	A1			10	楕円形	34×26	20	A1		
50	円形	28	23	C2			11	楕丸形	38×32	40	A1	古瓦	
51	円形	22	8	A1	P51→S.K44		12	円形	20	30	A1	S.K26→P12	
52	楕円形	35×32	15	A2	P52→S.K44		13	楕円形	25×20	28	A1		
53	楕丸形	36×30	35	A1			14	円形	25	25	A1		
54	楕円形	46×41	21	A1			15	円形	31	20	A1		
55	楕円形	42×40	15	A1			16	楕円形	35×24	20	A1		
56	楕円形	22×-	23	A1	P56→P.24		17	楕円形	35×27	20	A1		
57	楕丸形	32×32	28	A1	P57→P.58		18	楕円形	49×33	20	B		
58	楕円形	24×20	8	A1	P57→P.58		19	楕円形	50×40	20	B		
59	円形	30	15	A1			20	楕円形	36×13	12	D	P.2→P20	
60	円形	44	12	A1			21	楕円形	62×49	20	C		
61	楕円形	40×32	15	A4	P62→P.61		22	楕円形	33×28	30	C		
62	楕円形	40×32	20	A1	P62→P.61		23	楕円形	30×25	30	D		
63	楕円形	30×24	25	A1			24	円形	35	30	D		
64	円形	24	20	A1			25	円形	43×35	30	A1		
65	円形	22	15	A1			26	円形	35	30	B		
66	楕円形	27×22	10	A1			27	円形	58	30	D		
67	円形	22	10	A1			28	円形	37	30	D		
68	楕円形	28×24	12	A2			29	楕円形	47×42	30	D		
69	円形	33	15	A1			30	円形	27	36	C	P30→P31	
70	楕円形	26×24	9	A2			31	円形	27×20	40	D	P30→32→P.31	
71	円形	26	7	A1			32	楕円形	23×17	30	C	P32→P31	
73	円形	20	12	A1			33	円形	34	32	C		
74	円形	26	15	A4			34	円形	31	9	C1		
75	不規則形	52×38	17	A4			35	円形	23	30	D		
76	不規則形	22×18	10	A2			36	不規則形	66×43	40	D		
77	楕円形	26×22	15	A2			37	楕円形	51×35	20	C		
78	楕円形	40×32	8	A2			38	楕円形	40×32	30	A1	P38→P.39	
79	衝撃形	24×22	17	A2			39	円形	20	16	A1	P38→P.39	
80	楕円形	34×32	17	A1	S.B02と重複		40	円形	20	30	A1		
81	楕円形	36×34	21	A4	S.B02と重複		41	円形	17	10	A1		
82	楕円形	24×18	7	A4	S.B02と重複		42	楕円形	31×25	10	A3		
83	円形	24	18	A1	S.B02と重複		43	円形	21	10	A4		
84	円形	22	21	A4	S.B02と重複		44	楕円形	31×28	8	A1		
85	円形	22	20	A2	S.B02と重複		45	円形	27	8	C		
86	円形	22	20	A2	S.B02と重複		46	楕丸形	33×23	24	A3		
87	楕円形	28×22	17	A2	P87→P.88		47	楕円形	29×25	24	A4	P47→P.49	
88	楕円形	32×28	12	A2	P87→P.88		48	円形	36	23	A1	P48→P.49	
89	楕円形	28×35	17	A1	楕石		49	楕円形	32×26	12	A1	P47→48→56→P.49	
90	円形	32	38	A2			50	円形	32	5	C		
91	楕円形	32×25	7	A1	P91→P.92→S.K65		51	円形	19	20	A1		
92	円形	36	20	A4	P91→P.92		52	楕円形	26×21	20	A2		
93	円形	24	11	A2	P93→S.K65		53	楕丸形	72×56	20	A4	P53→P54	
94	楕円形	42×38	35	A1	P94→P.95		54	楕円形	32×24	15	A1	P53→P54	
95	円形	23	10	A4	P94→P.95→S.K65		55	円形	21	20	A2		
96	円形	36	10	A2	P96→S.K65		56	楕丸形	36×65	10	C	P56→P.57	
97	不規則形	20×62	55	A1	P113→P.97		57	楕円形	43×28	20	A1	S.101→P.97	
98	不規則形	62×48	23	A2			58	円形	27	6	A2	S.101→P.98	
99	楕円形	52×48	23	A2			59	円形	19	20	A1		
100	楕円形	30×30	20	A2			60	楕円形	28	25	A1		
101	円形	28	12	A2			61	円形	25	21	A1		
102	楕円形	40×34	10	A1			62	円形	28	30	A2		
103	円形	29	25	A1			63	円形	30	14	A1	P.6→S.I03	
104	不規則形	32×25	10	A1			64	円形	35	23	A1		
105	不規則形	68×44	10	A2			65	円形	22	10	A2		
106	円形	22	20	A4			66	円形	102×83	23	A2	S.101と重複、土留器	
107	楕円形	32×28	20	A1			67	円形	28	25	A1		
108	円形	28	5	A1	P108→P.109		68	円形	21	18	A1		
109	楕円形	38×30	12	A2	P108→P.109		69	円形	27	15	A1		
110	円形	16	26	A1	P108→P.7→S.K45		70	楕丸形	64×39	10	A1	S.B01と重複、SK38→P13	

表13 小穴一覧 (8)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆土	備考
C13	14	円形	83×66	22	A.2	S B01と重複、P14→P15	C14	30	円形	26	10	A.1	
	15	円形	31	17	A.1	S B01と重複、P14→P15		31	楕円形	34×26	15	A.1	P52→S D02→P53・54
	16	円形	35	15	A.1	S B01と重複		32	楕丸形	87×6	12	C.2	P52→S D02→P53・54
	17	楕円形	26×22	6	A.1	S B01と重複		33	円形	26	10	A.1	P52→S D02→P53
	18	円形	27	8	A.1	S B01と重複		34	円形	30	8	A.1	P52→S D02→P54
	19	円形	24	4	A.1	P19→S B01		35	円形	31	15	A.1	
	20					欠番		36	円形	31	10	A.1	
	21	円形	23	8	A.1	S B01と重複		37	円形	37	10	A.1	S D02→P57
	22	円形	28	12	A.1	S B01と重複		38	円形	29	8	A.4	S D05→P58
	23	円形	28	22	A.1			39	楕円形	35×31	7	A.2	
	24	円形	23	15	A.1			40	楕円形	36×28	10	C	
	25	円形	23	18	A.2			41	円形	42	25	A.1	
	26	円形	32	25	A.1			42	円形	27	20	C.1	
	27	楕円形	27×23	20	A.1			43	円形	34	10	C.1	
	28	楕円形	25×18	15	A.2			1	円形	45	-	A.4	陶器
	29	楕円形	31×26	17	A.1	P29→P30		2	円形	29	-	A.1	
	30	円形	27	13	A.1	P29→P30		3	楕円形	28×24	-	A.1	P3→P42→S D02
	31	円形	20	21	A.1			4	楕円形	58×51	-	C	
	32	円形	27	13	A.1			5	円形	29	-	C	
	33	楕円形	27×18	15	A.1			6	楕円形	45×33	-	A.1	
	34	楕円形	23×15	15	A.1			7	楕円形	68×64	-	B	P7→P46
	35	円形	23	12	A.1			8	円形	32	-	C	
	36	円形	22	15	A.1			9	円形	40	-	A.1	
	37	楕円形	73×51	9	A.1			10	楕円形	54×50	-		P10→P48・50・52
	38	円形	48	5	A.1			11	円形	22	-	B	P11→P53
	39	円形	29	10	A.1			12	楕円形	44×37	-	A.1	P12→P46・47
	1	楕丸形	35×29	10	A.1	陶器		13	円形	29	-	B	P13→P47
	2	円形	31	12	A.2			14	円形	21	-		
	3	楕円形	31×26	-	-			15	第1丘下7	45×34	-		P16→P15→S D05
	4	円形	23	5	A.2			16	楕円形	52×40	-	A.2	P16→P15→S D05
	5	円形	30	8	A.2	P5→P6・7		17	楕円形	41×37	-	C	
	6	円形	33	15	A.4	P5→P6		18	円形	27	-	C	
	7	円形	25	5	A.1	P5→P7		19	円形	26	-	C	
	8	円形	25	15	A.2	P8→P9		20	楕円形	28×26	10	A.2	
	9	円形	27	20	A.2	P8→P9		21	円形	27	-	A.1	或文土器
	10	楕円形	36×34	15	A.3			22	楕丸形	40×39	-	A.1	
	11	円形	20	20	A.4			23	円形	40	-	C	
	12	円形	31	15	C.1			24	円形	29	-	C	P25→P24
	13	円形	26	16	A.2			25	楕円形	30×25	-	C	P25→P24
	14	円形	29×16	16	A.1	P14→P15・16		26	円形	49	-	A.1	
	15	楕円形	33×27	10	A.1	P14→P15		27	楕円形	59×49	-	B	
	16	円形	37	30	A.1	P14→P16		28	楕円形	36×32	-	A.1	
	17	円形	43	8	A.2	S K14と重複		29	円形	34	-	A.1	
	18	楕円形	96×92	8	A.1	P18→S K13		30	楕円形	61×47	-	A.2	
	19	楕円形	29×23	6	A.1			31	円形	35	-	A.1	P31→S K06
	20	楕円形	25×23	12	A.1			32	楕円形	60×51	-	A.1	
	21	円形	31	20	A.2			33	円形	41	-	A.4	
	22	楕円形	29×23	20	A.2			34	楕円形	55×42	-		
	23	楕円形	20×16	6	A.2			35	楕円形	55×46	-	A.1	
	24	楕円形	25×30	12	A.2			36	楕円形	30×28	-	A.1	
	25	楕円形	35×28	7	-	P25→P27		37	円形	29	-	B	
	26	楕円形	27×20	20	A.1	P26→P27		38	円形	39	-	B	
	27	円形	26	10	A.2	P25→P27		39	円形	39	-	B	S D05→P39
	28	楕円形	38×22	15	A.1			40	楕円形	74×66	-	B	
	29	円形	22	10	A.1			41	楕円形	35×31	-	A.1	
	30	楕円形	31×28	15	A.2	P30→P31		42	円形	29	-	-	P3→P42
	31	円形	32×25	15	A.2	P30→P31		43	円形	19	-	-	
	32	円形	28	15	A.2	S K101と重複		44	円形	45	10	A.2	P44→P45→S D05
	33	楕丸形	28×22	7	A.4			45	円形	29	-	-	P44→P45→S D05
	34	楕円形	28×22	5	A.1			46	円形	30	-	-	P7→12→P46
	35	楕円形	30×24	12	A.4	S K95と重複		47	楕円形	25×24	-	-	P12→13→P47
	36	楕円形	27×7	-	-	P36→P39・40・41		48	楕円形	42×32	-	-	P10→P48→P52
	37	円形	22	12	A.2	P37→P40		49	円形	41	10	-	P40→P10
	38	円形	27×7	5	A.2	P38→P40・43		50	円形	47	-	-	P10→P44→P50
	39	円形	29	15	A.1	P36→P39		51	円形	49	-	-	P51→P52
	40	円形	28	17	A.2	P36・37・38→P40		52	円形	28	-	-	P10→48・51→P52
	41	円形	25	10	A.2	P36→P41		53	楕円形	28×26	-	-	P11→P53
	42	円形	26	10	A.2	S K95とP42		54	円形	33	-	-	
	43	円形	34	5	A.1	P38→P41		55	円形	60	-	-	
	44	円形	32	20	A.2			56	楕円形	59×40	-	-	
	45	楕円形	25×30	14	A.2	S K93と重複		57	円形	37	-	-	P57→S K06
	46	楕円形	27×23	16	A.4			58	円形	32	-	-	
	47	円形	91×65	6	B.1	S D06と重複		59	楕円形	53×41	-	-	
	48	円形	28	10	A.1			60	円形	34	-	-	
	49	円形	31	15	A.1			61	円形	36	-	-	

表14 小穴一覧(9)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	62	円形	24	-	-	P62→P64		31	楕円形	30×24	-	A 1	
	63	楕円形	22×18	-	-			32	楕円形	32×30	-	B 1	
	64	円形	24	-	-	P62→P64		33	円形	52	-	A 1	
	65	円形	52×-	-	-	P65→P66・67		34	円形	34	-	A 4	
	66	円形	19×-	-	-	P65→P66		35	楕円形	28×22	-	B	
	67	円形	16×-	-	-	P65→P67		36	楕円形	48×44	-	A 1 製品	
	68	円形	22	-	-			37	楕円形	33×28	10	A 1	
	69	円形	27	-	-			38	円形	32	15	A 3 P36→P92	
	70	楕円形	27×24	-	-			39	楕円形	25×50	-	A 1 S D05→P39	
	71	円形	33×-	12	A 2			40	楕円形	36×32	-	C	
	72	楕円形	44×36	12	A 2	P72→P73		41	不整形	82×56	15	A 4 P41→S D05	
	73	円形	29	10	-	P72→P73		42	楕円形	52×40	-	B	
	74	円形	33	21	A 2			43	不整形	86×54	14	A 4 P91→P43→P90・92, 5わ5ひ	
	75	楕円形	28×24	6	A 2			44	楕円形	46×36	-	A 1 P44→S K08	
	76	円形	28	15	A 4			45	円形	44	-	A 1 P44→S K08	
	77	楕円形	32×28	15	A 2			46	楕円形	34×28	20	A 4	
	78	円形	29	15	A 2			47	円形	32	13	A 1	
	79	楕円形	22×17	31	A 2	P79→S K99		48	円形	30	10	A 1	
	80	円形	27	15	A 2			49	円形	34	32	A 1	
	81	円形	42×-	10	A 1	P81→P82		50	楕円形	42×34	15	A 1	
	82	円形	29	10	A 2	P81→P82		51	楕丸形	48×40	23	A 3	
	83	円形	31	15	A 2	P83→S K97		52	円形	34	16	A 1	
C15	84	楕円形	24×22	6	A 2	P84→C14 P32→S K101		53	楕円形	28×-	13	A 1 P53→P123	
	85	円形	36	5	A 2	P85→S K96		54	楕円形	34×30	10	A 2	
	86	楕円形	31×25	5	A 2	P86→S K96		55	円形	24	10	A 2	
	87	円形	23	12	A 1	P87→S K96		56	楕円形	55×45	20	A 4	
	88	円形	31	5	A 1	P88→P89→S K96		57	楕円形	50×44	23	A 4	
	89	円形	39	5	A 1	P88→P89→S K96		58	楕円形	40×35	20	A 1	
	90	楕円形	42×25	5	A 2			59	円形	24	16	A 2	
	91	楕円形	59×52	25	A 1	P91→P92		60	楕円形	54×45	20	A 1	
	92	楕円形	59×37	21	A 1	P91→P92		61	楕円形	64×60	10	A 4	
	93	円形	27	21	A 4			62	円形	46	10	A 2	
	94	楕円形	62×58	22	A 1	P94→P96・97		63	楕円形	44×36	10	A 4	
	95	円形	41	12	A 2	P95→P96		64	円形	36	10	A 4	
	96	円形	48	7	A 2	P94・95→P96		65	楕円形	26×22	23	- P66→P65	
	97	楕円形	34×30	7	A 1	P94→P97		66	円形	32	-	A 4 P66→P65	
	98	円形	49	7	A 2	P98→P99		67	楕円形	28×22	22	-	
	99	円形	43	8	A 2	P98→P99		68	楕円形	30×25	23	- P66→S K09, 土器器	
	100	円形	32	30	A 1			69	不整形	30×26	-	A 1	
	101	円形	28	15	A 1			70	不整形	58×42	17	A 1	
	102	円形	27	15	A 4			71	円形	18	15	A 1	
	103	円形	24	7	A 2			72	楕円形	28×24	15	B P72→P73	
	104	円形	31	6	A 1	P104→P50		73	楕円形	30×26	12	A 2 P72→P73	
	105	楕円形	21×29	12	A 2			74	楕円形	36×24	20	A 2	
C16	1	楕丸形	38×30	-	A 1	C16 P1→B16 P9		75	不整形	30×26	16	A 1 D16 P 2→P75	
	2	円形	30	-	A 1			76	楕円形	30×28	15	A 2	
	3	円形	26	-	A 1			77	楕丸形	34×30	10	B	
	4	円形	21	13	-			78	楕円形	28×24	20	- P79→P78	
	5	楕円形	32×28	-	A 4			79	楕丸形	46×38	-	A 1 P79→P78	
	6	楕円形	33×28	-	A 4			80	円形	24	20	A 1	
	7	円形	40	-	A 1	S K16→P7		81	楕円形	42×26	15	B P81→P109	
	8	円形	25	-	A 4			82	楕円形	52×40	-	A 4 P82→P108	
	9	楕円形	55×50	-	-	P 9→S K08		83	円形	28	-	A	
	10	楕円形	35×31	-	-	P11→P10→S K08		84	円形	32	-	A 1	
	11	円形	30	-	-			85	不整形	40×36	-	-	
	12	楕円形	34×30	-	A 1			86	楕円形	30×24	15	A 2	
	13	円形	44	-	A 1			87	不整形	34×28	18	A 2 P91→P87	
	14	円形	36	-	A 2			88	楕円形	38×36	35	A 2 P91→P88	
	15	楕円形	39×24	-	A 1			89	楕円形	34×28	33	A 2 P43→P90→P89	
	16	楕丸形	32×30	-	A 1			90	円形	28	30	A 2 P91→P43→P90→P89	
	17	円形	30	-	A 1			91	円形	28	19	A 4 P91→P43→S 86→P89	
	18	円形	31	-	A 4			92	円形	26	9	A 2	
	19	円形	30	-	A 1			93	不整形	52×45	-	-	
	20	円形	32	-	A 2			94	不整形	72×64	10	A 2 P94→P93→106	
	21	円形	31	-	A 1			95	円形	30	27	A 2	
	22	不整形	49×42	-	A 2			96	楕円形	35×32	25	A 2	
	23	楕円形	54×40	-	A 4			97	不整形	36×34	23	A 1	
	24	円形	34	-	A 1			98	不整形	34×25	19	- P98→P118・119	
	25	不整形	48×42	-	A 4			99	不整形	35×34	-	- P99→P119	
	26	円形	26	-	A 4			100	不整形	38×38	14	A 2	
	27	円形	30	-	A 1			101	円形	25	11	A 2	
	28	楕円形	28×25	-	A 4			102	楕円形	32×26	18	A 2	
	29	円形	28	-	A 1			103	楕丸形	24×22	12	A 2	
	30	楕円形	36×36	-	A 4	製品		104	楕円形	35×30	-	-	

表15 小穴一覧(10)

グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	
	106	円形	53×40	34	-	P'94→P'106		56	円形	26	-	-	P'59→P'58→S'K08	
	107	円形	25	21	-			59	楕円形	92×74	-	-	P'59→P'5→S'K08	
	108	不整形	25×25	-	-	P'82→P'108		60	円形	35	-	-	S'K08→P'69	
	109	楕円形	22×18	17	-	P'81→P'109		61	楕円形	28×20	34	-	P'32→P'61	
	110	円形	26×20	33	-			62	円形	20	-	-	P'32→P'62	
	111	円形	30	11	-			63	楕円形	24×22	9	A 2		
C16	112	円形	40×32	13	-			64	楕円形	28×24	16	A 2	P'65→P'64	
	113	円形	25	15	-			65	楕円形	25×23	20	A 2	P'32→P'65→P'64	
	114	楕丸形	44×40	12	-			66	不整形	44×40	8	A 1	P'67→P'66	
	115	楕円形	30×28	22	-			67	円形	30	26	A 2	P'67→P'66→S'K09	
	116	円形	28×25	6	-			68	楕円形	31×26	-	A 1	S'K09→P'68	
	117	楕円形	18×14	13	-			69	円形	22	40	-	P'69→S'K09	
	118	不整形	19×16	10	-			70	楕円形	28×24	35	-		
	119	不整形	22×20	7	-			71	不整形	35×28	38	-		
	120	円形	34×30	21	-			72	円形	34	24	-		
	121	方形	38×34	32	-			73	楕丸形	31×28	18	-		
	122	円形	32×28	10	-			74	楕円形	36×30	21	A 3	古瓦	
	123	円形	24	14	-	P'53→P'123		75	不整形	40×40	21	A 3		
	1	円形	64×56	13	B			76	不整形	36×28	20	-		
	2	円形	40	33	A 1			77	不整形	54×50	20	-		
	3	円形	35	20	A 1			78	楕丸形	32×28	-	-	P'31→P'78	
	4	円形	24	14	A 2	P'4→S'K04→P'15		79	楕円形	40×30	15	A 1		
	5	不整形	39×32	40	-	P'59→P'5→S'K08		1	楕円形	36×32	30	A 1		
	6	楕丸形	41×34	34	A 1			2	楕円形	38×25	20	A 1		
	7	円形	32×30	60	A 2	かわらけ		3	楕円形	24×28	10	A 2	P'3→S'K22	
	8	楕円形	42×38	24	A 2			4	楕円形	40×30	34	A 1		
	9	円形	30	24	A 2			5	円形	34	34	A 1		
	10	楕円形	44×38	40	A 2	板石		6	円形	26	15	A 2		
	11	円形	32×28	35	A 1	板石		7	楕円形	30×24	34	A 2		
	12	楕円形	66×50	38	A 3			8	円形	30	-	-		
	13	円形	25	23	A 1	S'K01→P'13		9	楕円形	42×30	-	-		
	14	不整形	165×94	-	A 3	P'14→P'15→S'K04		10	円形	32	-	-		
	15	円形	34	32	-	P'14→P'15		11	楕円形	58×41	-	-		
	16	円形	42	30	A 1			12	楕円形	35×32	-	-		
	17	円形	20	20	A 1			13	円形	32	15	A 1	P'13→P'12	
	18	楕円形	48×44	25	A 1			14	円形	25	30	A 1		
	19	円形	34	21	A 2			15	円形	35	-	-		
	20	楕丸形	38×34	-	A 1			D14	1	円形	29	25	A 1	
	21	円形	26	-	A 1			2	円形	28	5	A 1		
	22	円形	24	12	-			1	楕円形	37×34	12	-		
	23	円形	26	13	B			2	円形	31	10	A 1		
	24	不整形	36×31	30	A 2			3	円形	23	7	A 2		
	25	円形	24	20	A 2			4	円形	31	21	A 2		
	26	不整形	32×30	30	A 4			5	円形	35	24	A 1	P'5→P'6	
	27	円形	30	23	A 4			6	円形	38	18	A 2	P'5→P'6	
	28	円形	34	18	A 1			7	円形	33	21	A 1		
C17	29	楕円形	32×30	35	A 3	P'29→P'73		8	円形	29	21	A 2		
	30	楕円形	35×26	-	A 2			9	楕円形	35×33	18	A 2		
	31	円形	36×24	20	A 1	P'31→P'78、土器類、板石		1	楕円形	32×28	15	A 4		
	32	楕丸形	92×70	18	A 2	P'32→P'61→65、土器類・板石		2	楕円形	82×62	-	A 1	P'2→C16P75	
	33	円形	32	17	A 1	土器類		3	楕円形	32×30	-	B		
	34	楕円形	38×36	20	A 1			4	楕円形	24×18	16	A 2		
	35	円形	48	10	B			5	楕丸形	24×20	13	A 2		
	36	楕円形	30×24	32	A 1			6	円形	34	18	A 1		
	37	円形	30×28	25	-	P'37→D17P'14		7	円形	32	9	A 1	S'K16→P'7	
	38	円形	24	-	A 2			1	円形	25	15	C	土器類・板石	
	39	円形	26	40	A 1			2	円形	40	17	A 1	P'2→P'2	
	40	不整形	61×54	50	A 2			3	楕円形	26×22	10	A 1	P'2→P'2	
	41	不整形	46×42	35	A 2			4	楕円形	20×14	20	A 1	P'2→P'12	
	42	円形	32	13	A 3			5	円形	30	24	B	P'5→P'12	
	43	円形	32×28	43	A 4			6	円形	28	49	A 1		
	44	楕円形	30×26	20	A 2			7	楕円形	32×26	20	A 1	土器類	
	45	円形	40×28	18	A 1			8	楕円形	64×40	15	A 1		
	46	楕円形	22×18	18	A 1			9	円形	30	10	A 2	土器類	
	47	円形	54×60	20	A 1			10	楕円形	26×20	10	A 2		
	48	不整形	52×46	25	B			11	円形	28	12	-		
	49	円形	42×21	30	A 1	P'49→P'50→P'51		12	楕円形	30×24	24	-	P'4→5→P'12	
	50	楕円形	52×30	30	A 2	P'50→P'52		13	円形	26	14	A 1		
	51	円形	22	18	-	P'49→P'50→P'51		14	楕円形	30×25	12	-	C17P'37→P'14	
	52	楕円形	34×30	32	-	P'50→P'52		15	楕丸形	54×45	-	-		
	53	円形	26×23	20	-			D18	1	楕円形	22×16	50	A 1	
	54	楕円形	25×24	31	-									
	55	円形	28×24	33	-									
	56	楕円形	26×22	14	-									
	57	円形	34×30	23	-	かわらけ。古瓦								

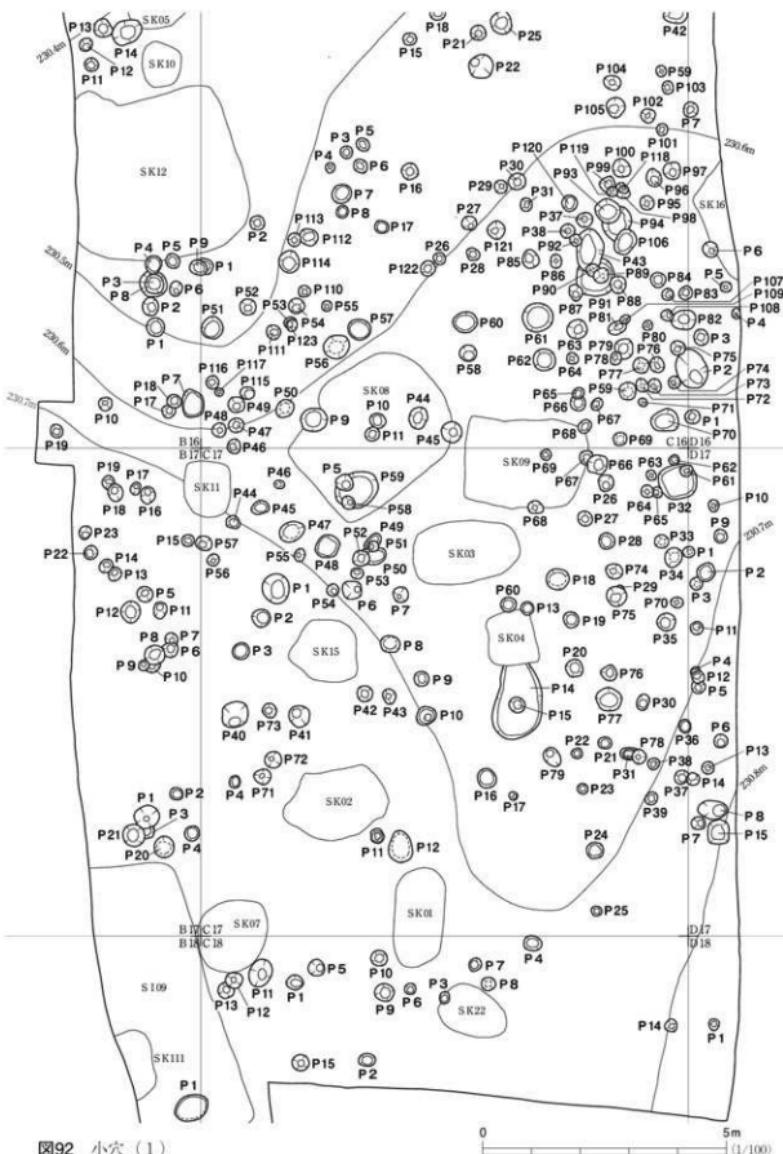
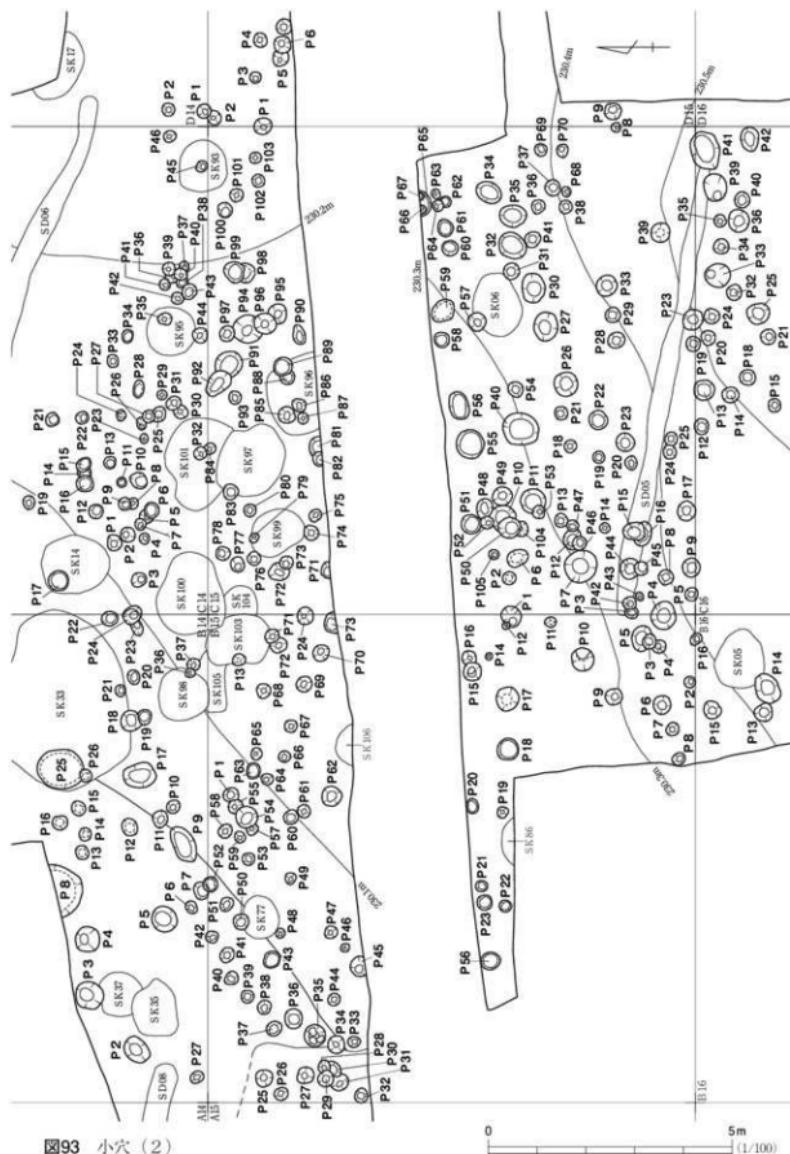


图92 小穴(1)



■93 小穴(2)

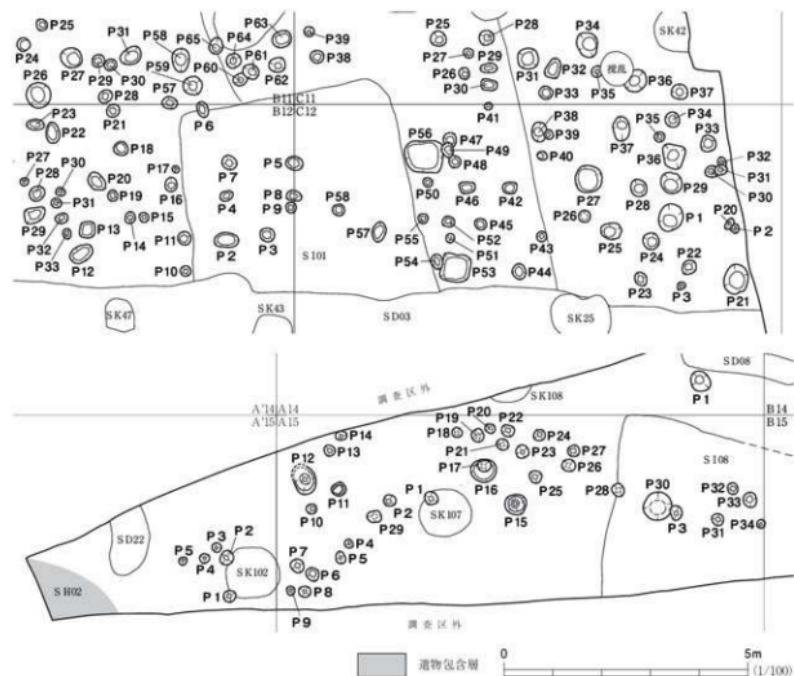


图94 小穴(3)

には油煙が付着していることから、灯明皿としての使用がうかがえる。

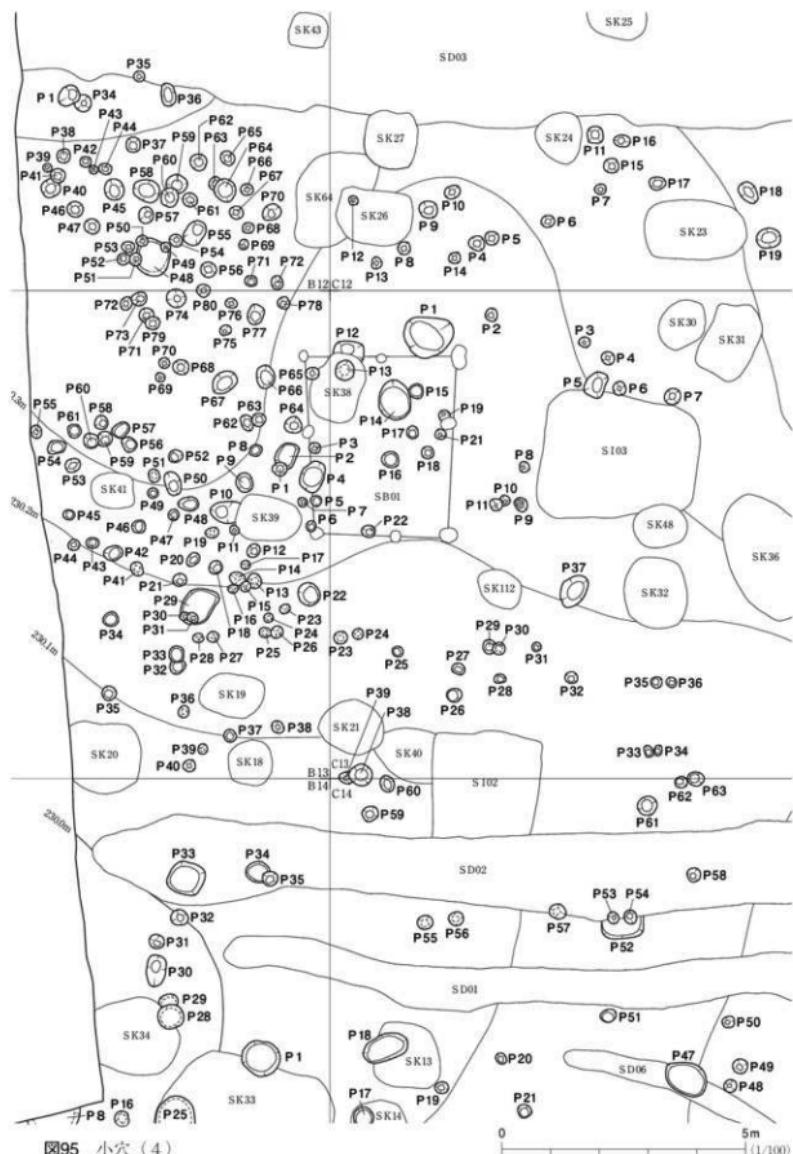
図100-8~14は陶器である。9は常滑焼のこね鉢、8・10~12は常滑焼の甕もしくは壺で、8の外面には沈線がみられる。13・14は瓷器系の在地産で、13は甕で口縁部が直立気味に立ち上がる。14は甕もしくは壺である。図100-15は青磁の碗である。

図100・16～18は土師器で、16・17は杯で、いずれも6世紀後葉から7世紀前葉の所産であろうか。16は小型杯で口縁部は外傾し、底部は丸底である。17の口縁部と体部の境には段がみられる。18は甕である。底部内面には打ち欠いたような痕跡がみられ、外面は胴部下端から底部にわたりヘラケズリが施されている。

図100・19~21は縄文土器である。19・20は縄文を地文として沈線文が、21は網目状撲糸文が施されている。19・20は縄文時代後期前葉、21は縄文時代晚期中葉の深鉢とみられる。

図100-22~25、図101-1・2は鉄釘である。釘頭は屈曲し、断面形は方形である。図101-3は継で、断面形は橢円形である。図101-4は板状鉄製品である。

図101-5～9は古錢で北宋錢である。5は「元豐通寶」(初鑄1078年)、6は「元祐通寶」(初鑄



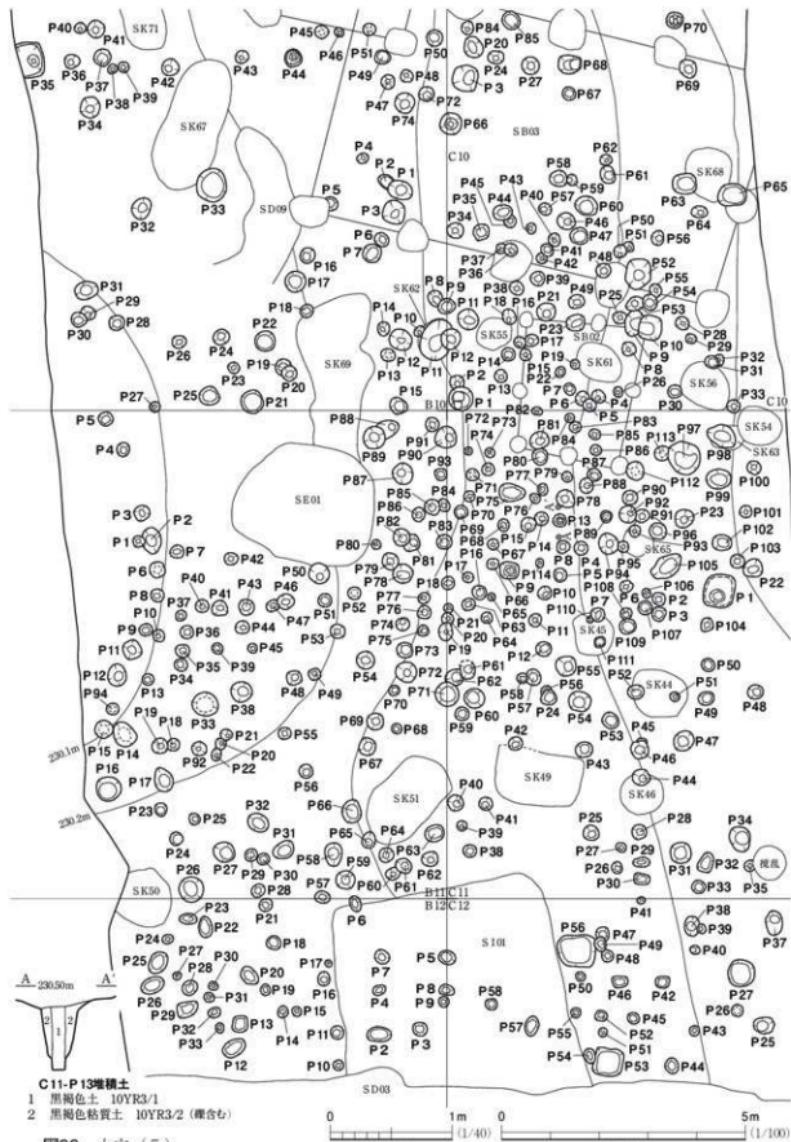


図96 小穴 (5)



図97 小穴(6)

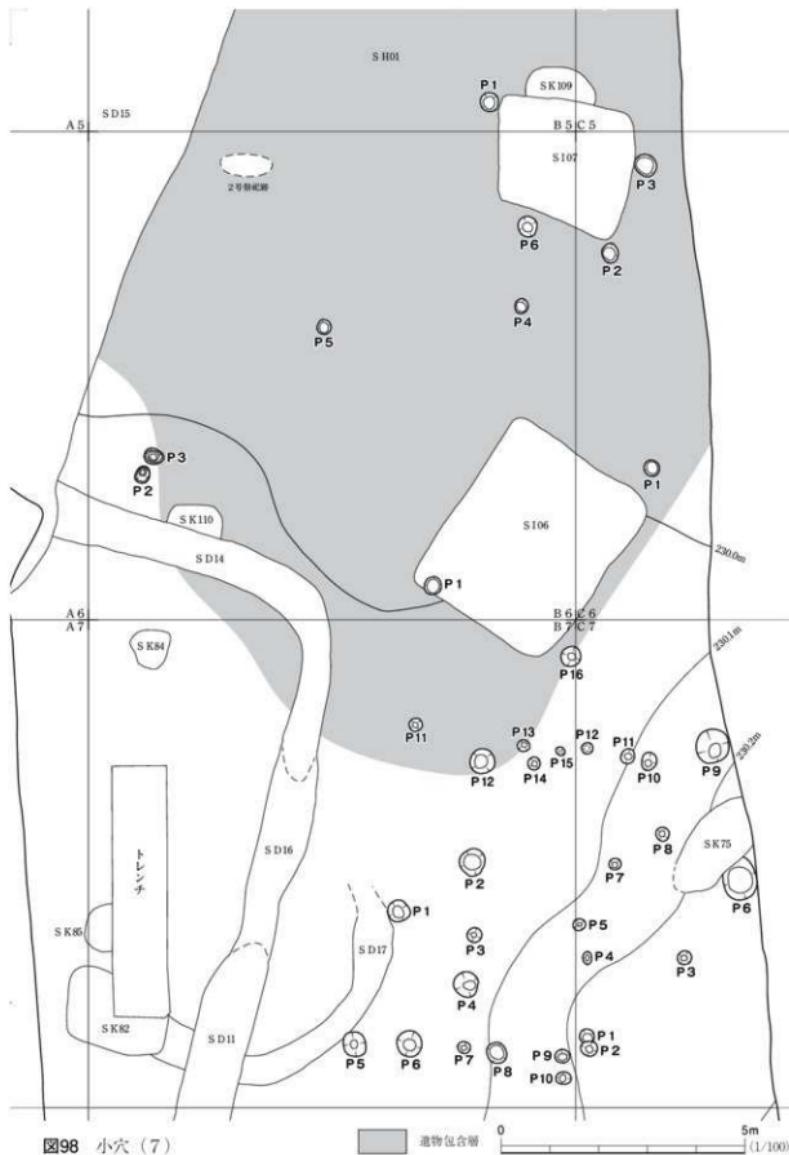


図98 小穴 (7)

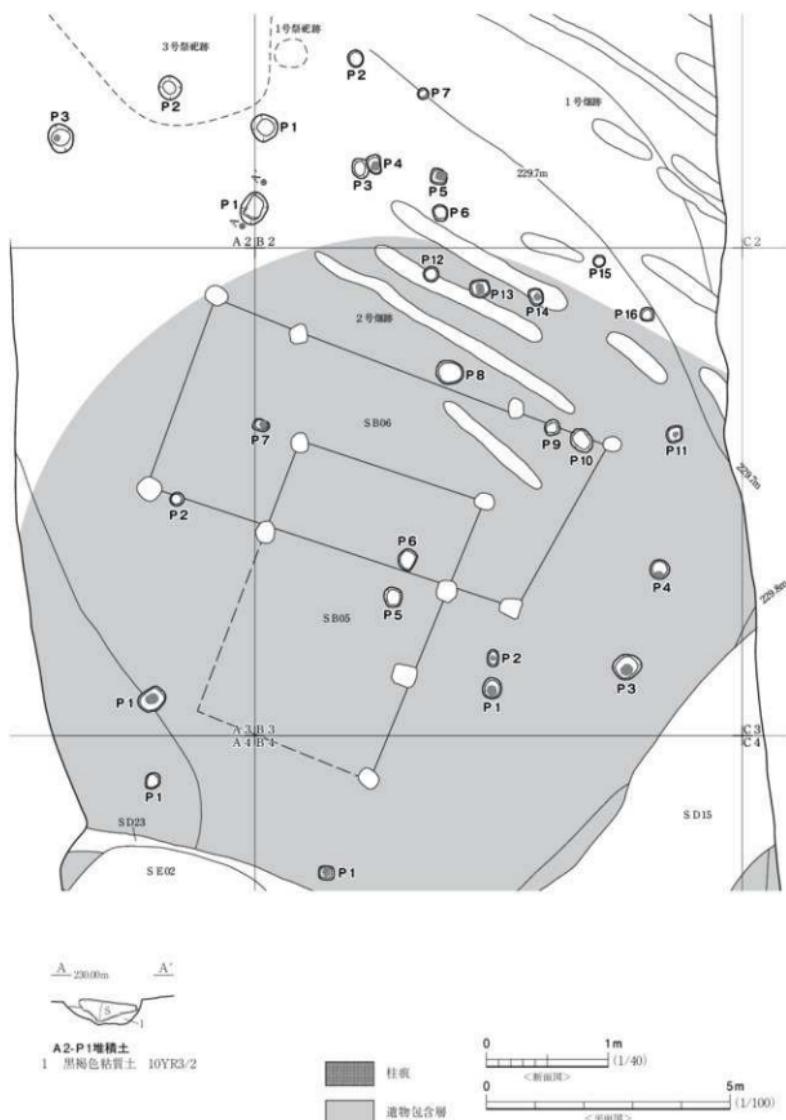


図99 小穴 (8)

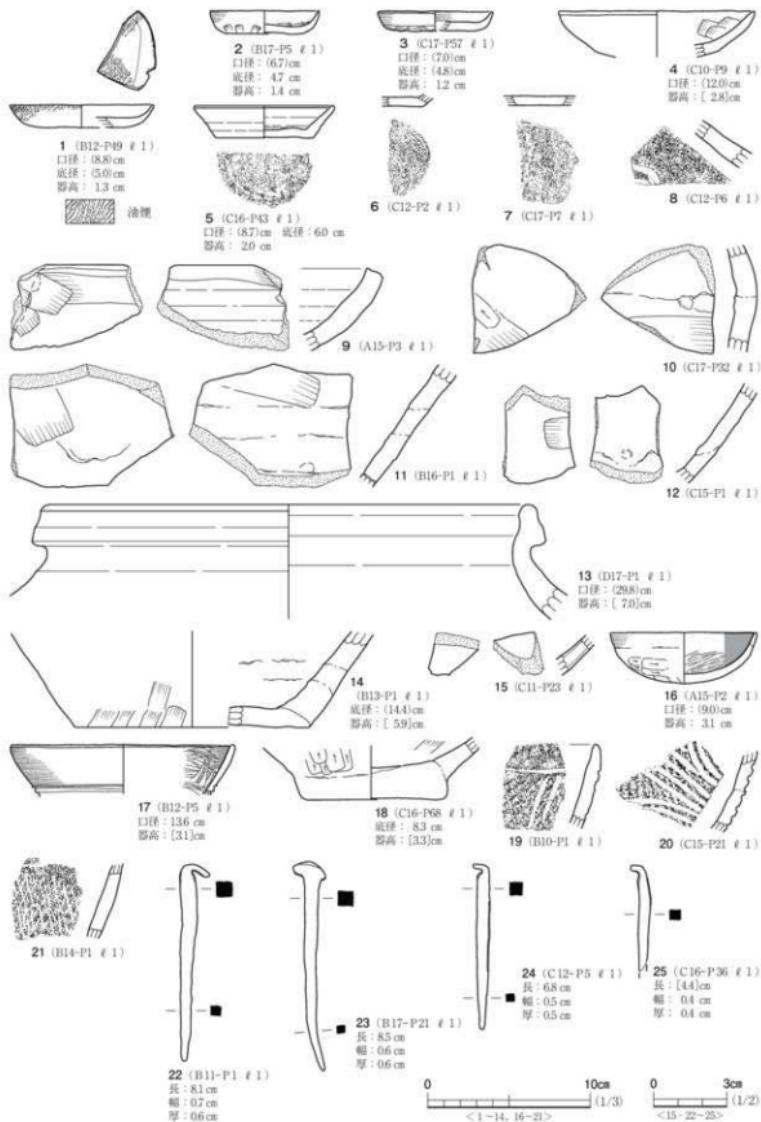


図100 小穴出土遺物 (1)

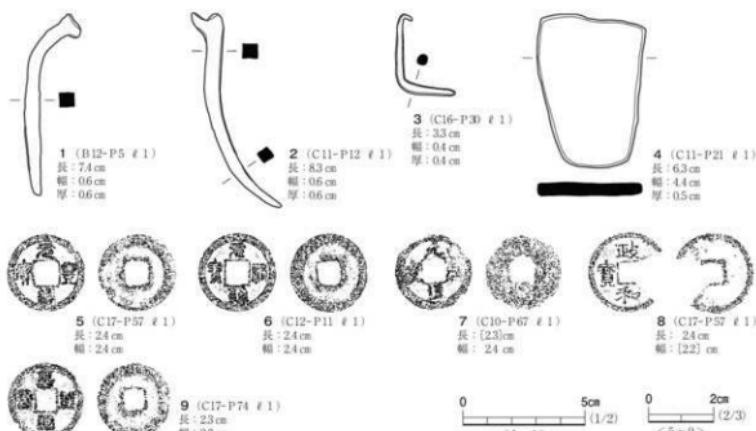


図101 小穴出土遺物（2）

1086年)、7は「元符通寶」(初鑄1098年)、8は「政和通寶」(初鑄1111年)、9は銭貨名を特定することはできなかった。

写真図版60に示した焼けた土壁は、長さ5~9cmで、スサが混入されている。1~2面にわたって面が整えられている。

### まとめ

小穴は、建物もしくは柱列を構成していた柱穴と考えている。さらに、小穴のなかでもC10~P67では古銭の出土状況から、埋納などの行為がうかがわれる。C17~P57からは古銭3枚とかわらけが出でているので、何らかの儀礼に伴う行為がうかがわれるような事象がみられた。

小穴の時期は15号溝跡の区画内となる東側では中世、区画外となる西側では古代と考えている。

(吉野)

## 第9節 その他の遺構と遺物

ここでは、畝跡、遺物包含層、遺構外出土遺物について記す。畝跡は、調査区北東部から2箇所確認した。遺物包含層は調査区北部と西端部の2箇所確認した。なお、遺物包含層・遺構外での遺物の取り上げはLII・III・IVで行っている。

### 1号畝跡

#### 遺構(図102、写真46)

調査区北東部のB2グリッドに位置する。検出面はLIVa上面である。重複する遺構は無く、東側に1号祭跡、南側に2号畝跡が隣接している。

南北10.5m、東西5.3mの範囲に並ぶ11条もしくは13条の畝間溝からなる。畝間溝の方向は北から約60°西に傾く。東側は調査区外に延びているが、検出された範囲で畝間溝の最大の長さは5m、幅は30~50cm、検出面からの深さは10cm前後で、畝間溝の断面形はU字状となっている。畝間溝どうしの間隔は、北側では40~60cmと比較的揃っている。しかし南側では10cmほどと幅狭かったり、逆に1m以上の箇所があったりと一定しないことから、これらの畝間溝は複数回の耕作によって形成されたものと考えられる。

堆積土は1層確認した。図示していないものも含めていずれも共通している。 $\ell 1$ はHr-FP(様名-伊香保テフラ)とみられる白色粒子を多量含んでいる。また部分的に暗褐色砂が集積していることから、人為堆積を考えている。

#### 遺 物(図102、写真60)

遺物は畝間溝の堆積土を中心に土師器20点、土製品1点、繩文土器1点が出土している。図示したのは、南端の畝間溝に隣接する位置に、正位で置かれていたミニチュア土器である(図102-1)。

#### ま と め

本遺構の時期については、明確な根拠に乏しい。しかし、本遺構に隣接する6世紀後半~7世紀前半の祭祀跡を覆うL III a ②が一部本遺構を覆っており、L III a ②上面では遺構を認識できなかつた。また、L III a ②が畝間溝に入り込んでいないものの、6世紀中頃に降下したとみられるHr-FPが堆積土に含まれていた。それらを考慮すれば、本縄跡は古墳時代後期に位置づけられるものと考えている。

(神林)

### 2号縄跡

#### 遺 構(図103、写真47)

調査区北東部のB 3グリッドに位置する。検出面はL IV a上面である。本遺構は南北6m、東西8.3mの範囲に並ぶ7条の畝間溝からなる。重複する遺構は5号建物跡と小穴で、本遺構が古い。畝間溝の方向は北から約60°西に傾く。東側は調査区外に延びているが、検出された範囲で畝間溝の最大の長さは6.1m、幅は30~50cm、検出面からの深さは10cm前後である。畝間溝の断面形はU字状となっている。畝間溝の間隔は北西側の40~50cmと揃っている部分もあれば、東側の1m以上の間隔があく部分もあり、複数回の耕作によって畝間溝が形成されたことが伺える。

堆積土は1層確認した。図示していないものも含めていずれも共通している。 $\ell 1$ はL V a由來とみられるにぶい黄褐色土塊が含まれていることから、人為堆積を考えている。

遺物は畝間溝の堆積土から土師器15点が出土したが、いずれも細片である。

#### ま と め

本遺構の時期については、明確な根拠に乏しい。1号縄跡に隣接して位置し、出土遺物もほとんどが古墳時代後期とみられる土師器片であることから、近い時期の可能性も考えられる。しかし1号縄跡と明らかに堆積土が異なることから、古墳時代後期以降と考えておきたい。

(神林)

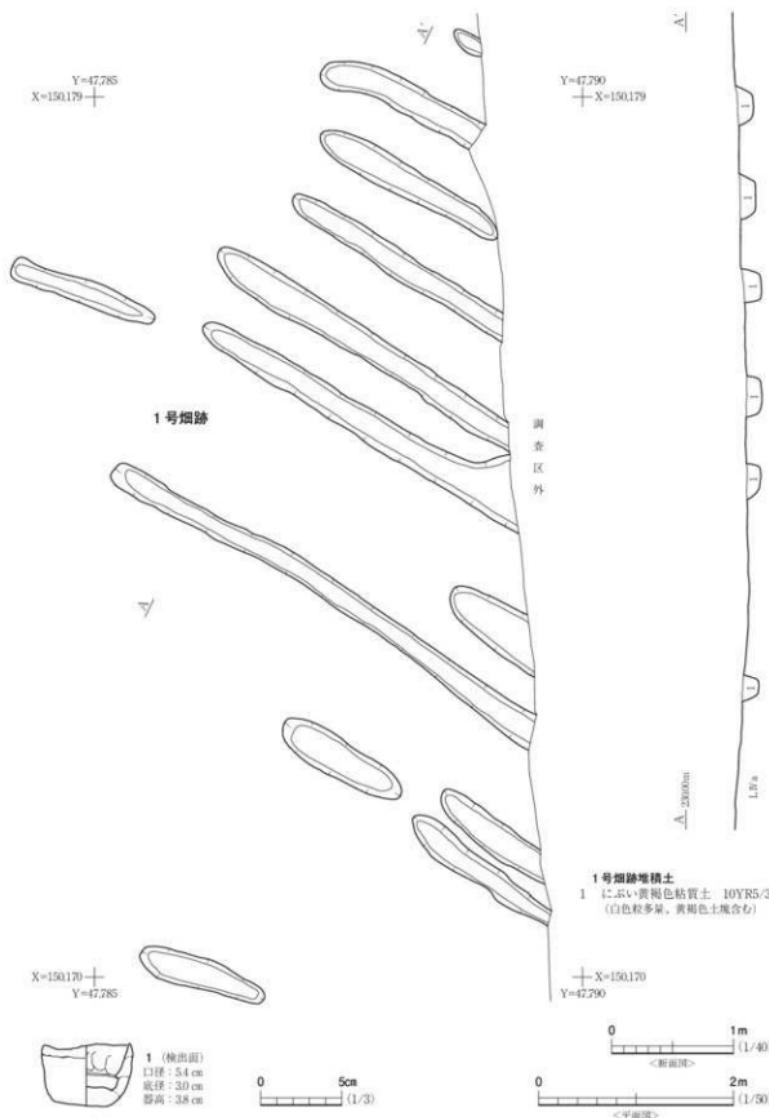


図102 1号烟跡・出土遺物

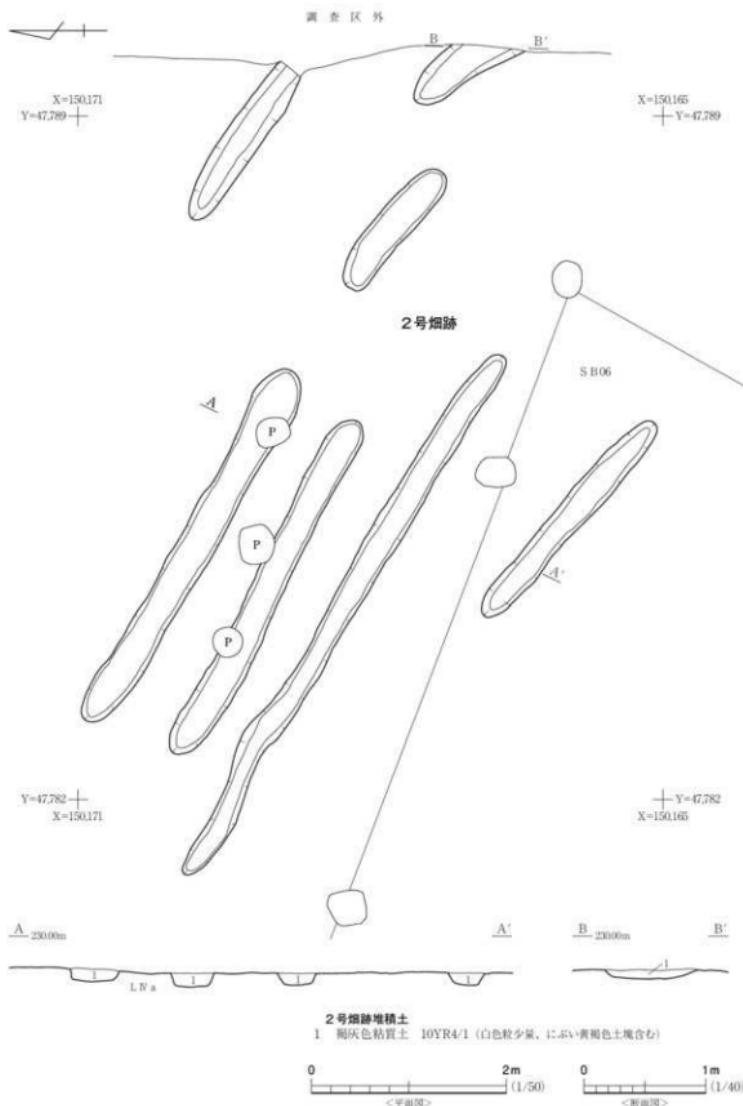


図103 2号烟跡

## 第1遺物包含層 S H 01

## 出土状況(図104)

第1遺物包含層は、調査区北部のA 3～5、B 3～7、C 4～6グリッドに分布する。本遺物包含層はL III・IVで、特に遺物の多く出土する範囲に対して付けた呼称である。

本遺物包含層からは土師器926点、須恵器8点、土製品4点、弥生土器7点、かわらけ1点、陶器4点、青磁1点、石製品1点、鉄製品2点、鐵滓1点が出土した。このなかで最も出土数が多い土師器について、グリッド毎の出土数をL III・IVに分けて図104に示した。L IIIでは、B 3グリッドを除いた全域での出土がみられる。一方、L IVでは、ほぼB 3～7グリッドからの出土に限定され、特にB 3グリッドでの出土数が最も多い。

## 遺物(図105、写真60)

1～3・6は土師器杯で、内面にはヘラミガキ・黒色処理が施されている。1は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられない。2は口縁部の外傾が著しく、口縁部と体部の境に段がみられる。外面は器面が磨滅しているため調整は不明である。3は底部が丸底で、外面にヘラミガキが施されている。6は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。外面では口縁部にヨコナデ、体部にヘラケズリが施されている。

4・5・7・8はミニチュア土器で、4・5の内面には黒色処理が施されている。7は杯の器形を模している。口縁部は外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。8は手づくねで成形され、外面に指オサエ、内面に指ナデがみられる。

10は土師器壺である。外面にはヘラケズリ・ヘラミガキが底部まで、内面はハケメ・ヘラミガキが施されている。

9・11・12は須恵器である。9は蓋の摘部で、宝珠形となっている。成形は粘土紐を円形に巻いている。11は円面鏡である。脚部には縦位の沈線が3条みられ、その左側には透かし孔が穿たれている。12は匙で、四線文間列点文が施されている。

13はかわらけの小皿で、手づくね成形である。14は弥生土器の壺で、1本描きの平行沈線文で三角文が施されている。弥生時代中期後葉の所産である。15は砥石で、被熱を受け炭化材が付着していた。破断面以外は使用され、端部には円形の窪みがみられる。

(吉野)

## 第2遺物包含層 S H 02

## 出土状況(写真48)

第2遺物包含層は、調査区西端部のA' 15グリッドに分布する。本遺物包含層は調査区外に分布し、調査区ではその東端部を確認した。本遺物包含層はL III・IVで、特に遺物が多く出土する範

L III						L IV					
A	A'	B	C	D	E	A	A'	B	C	D	E
2						2					
3	68					3	303				
4	50	16	24			4	18				
5	47	91	12			5	107				
6	13	59	17			6	13	81			
7						7	7				

図104 第1遺物包含層土師器出土点数



図105 第1・2遺物包含層出土遺物

門に対して付けた呼称である。

本遺物包含層からは、土師器209点が出土した。その内訳はⅢでは191点、Ⅳでは18点である。

### 遺物(図105、写真60)

16～18は土器部である。16は口縁部がわずかに外傾し、幅の広い凹線を巡らし口唇部を肥厚させている。胴部は長胴を呈する。口縁部にはヨコナデ・胴部にはヘラナデ・ヘラミガキが施されている。17は口縁部が屈曲し、頸部に段がみられる。胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ・胴部にはヘラナデ・ヘラミガキが施されている。18は口縁部が屈曲し、胴部は中程で張り出している。胴部にはハケメ・ヘラナデが施されている。(吉野)

(吉野)

遺構外出土遺物

### 出土状況(図106)

遺構外からは、407点の遺物が出土した。その内訳は表採出土遺物を加えると、土師器339点、かわらけ22点、陶器23点、瓦質土器1点、青磁1点、須恵器2点、縄文土器12点、古銭6点、鉄製品7点である。遺物に占める割合は土師器が多いので、土師器について、グリッド毎の出土数をL II・III・IVに分けて図106に示した。L II・IVでの出土数が多く、L IIIでは少ない。

### 遺物(図107)

1・2は土師器甕である。1の口縁部は短く外傾する。口縁部はヨコナデ、胴部は外面がヘラケズリ、内面はヘラミガキが施される。2の胎土には黒色粒が含まれ、底部外面には木葉痕がみられる。3・4は須恵器で、3は甕の胴部で外面に平行タタキ、内面にアテ具痕がみられる。4は長頭瓶で、高台部が欠損している。体部下端は回転ヘラケズリ再調整が施されている。

5・9はかわらけで5・9は小皿、6・8は皿である。5・7は手づくり成形、8・9はロクロ成形で底部外面に回転糸切痕がみられる。7の内外面には油煙が付着しているので、灯明皿として使用されていた。10・13・15は陶器である。10・11は常滑焼のこね鉢、14は瓦質土器で、火鉢も

L II				L III a + b				L IV a ~ d			
A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
8				8		2		8			
9				9				9		4	
10				10		2		10			
11				11		2		11			
12				12				12		10	
13				13				13		10	
14				14		1		14	4	2	
15	—	12	—	15	6	—	—	15	—	2	2
16	3			16				16	12	1	
17	21	2		17		1		17	1	3	
18	6			18				18	1	1	1

図106 遺構外土師器出土点数

しくは風炉の底部である。12・13は在地産の甕もしくは壺で、12の外面には窯壁が付着している。15は古瀬戸の瓶子で、外面に灰釉が施されている。

16は青磁の椀で、全面施釉で高台置付の釉を搔き取っている。

17～19は古銭で、北宋銭である。17は「皇宋通寶」(1038年)、18は「嘉祐通寶」(初鋤1056年)、19は「熙寧元寶」(初鋤1068年)である。(吉野)

(吉野)

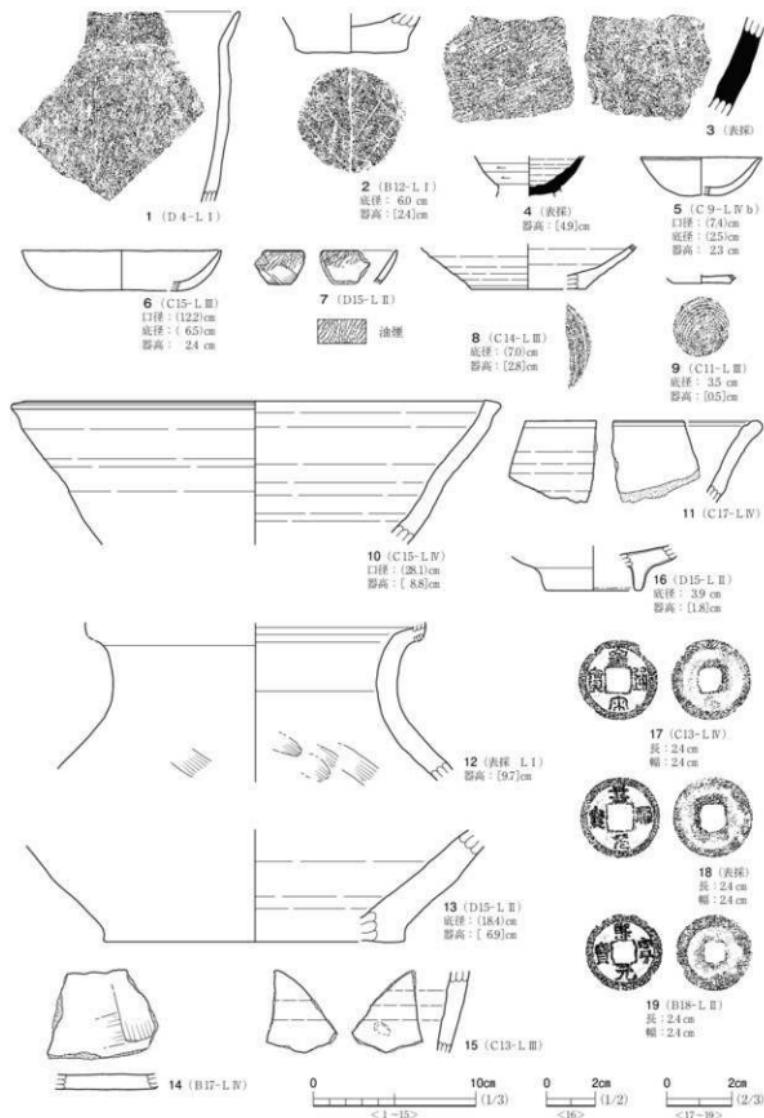


図107 遺構外出土遺物

## 第3章 まとめ

### 第1節 遺物

#### 古墳時代の土師器

古墳時代の土師器は、1・5号住居跡、1～3号祭祀跡、第1・2遺物包含層、遣構外から出土している。1・5号住居跡からは器種組成をうかがわせるような豊富な遺物は得られなかった。一方、1～3号祭祀跡からは、多くの土師器が出土した。

出土した土師器の器種は、杯・鉢・高杯・壺・甕・瓶である。鉢・高杯・甕は1個体のみの出土であるため、以下、杯・壺・甕の器形や調整の概要をまとめる。

**杯** 杯の底部の多くは丸底で、口縁部の立ち上がりは外反・外傾・直立などの形状の違いや、口縁部と体部の境に段がみられるものやみられないものがある。その特徴は以下のとおりである。

杯 A：底部は丸底で、口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図77-1、図79-1～3、図84-1～4・7・9・11・12、図85-17)。

杯 B：底部は丸底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられないもの。

杯B I：内面に、口縁部と体部の境の稜がみられるもの(図84-6・8、図85-16、図86-1)。

杯B II：内面に、口縁部と体部の境の稜がみられないもの(図9-4、図85-19)。

杯 C：底部は丸底で、口縁部が屈曲し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図84-5)

杯 D：底部は丸底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられるもの。

杯D I：口縁部と体部の境にある段の位置が中央にあるもの(図79-6～8、図85-5～15・18・20)。

杯D II：口縁部と体部の境にある段の位置が下方にあるもの(図77-2～6、図78-1～5・7～9)。

杯D III：口縁部と体部の境にある段が退化傾向にあるもの(図9-1)。

杯 E：底部は丸底で、口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられるもの。(図78-11、図85-1～3)。

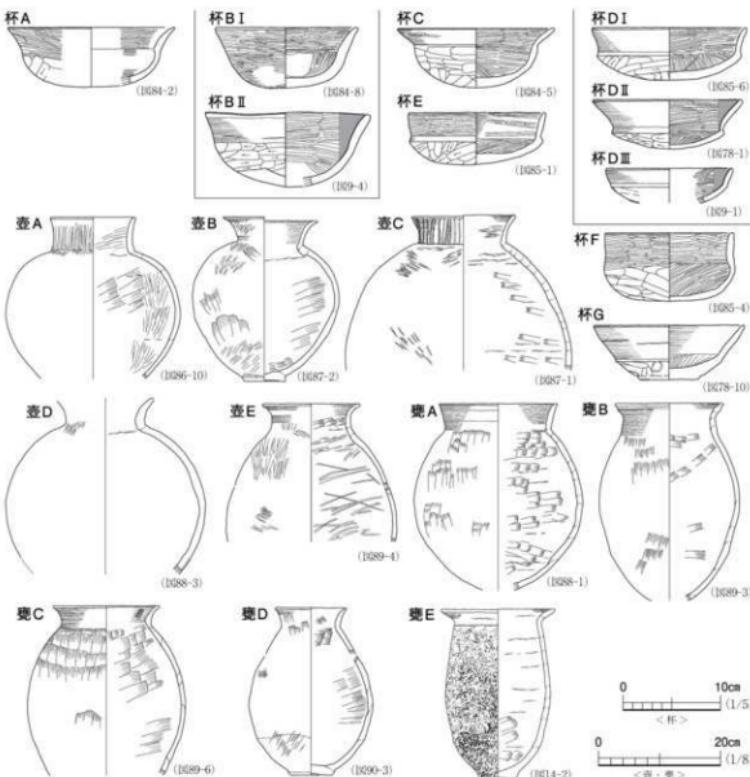
杯 F：底部は丸底で、口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図84-10・13・14、図85-4・19)。

杯 G：底部は平底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられるもの(図78-10、図79-4)

**壺** 図86-6・7の小型壺、図87-1・4などの器高が30cm以上の大型品などがある。

壺A：口縁部は直立し、胴部は球形を呈するもの(図86-6・9・10)。

壺B：口縁部は外傾し、胴部は球形を呈するもの(図87-2～4、図88-2)。



3号祭祀路(1・3・5~7, 10・12~21) 1号祭祀路(8) 5号住居路(9・21)

図108 土器器形分類図

壺C：口縁部は外傾し、胴部は倒卵形を呈するもの(図87-1、図89-2)。

壺D：口縁部が屈曲し、胴部は球形を呈するもの(図88-3)。

壺E：口縁部が外反し、胴部が長胴を呈するもの(図89-4)。

壺の器面調整は、口縁部ではヨコナデ、ヘラミガキ、胴部ではヘラナデ、ヘラミガキなどが施されている。

**甕** 甕は杯に次いで個体数が多い。図90-1の小型甕、図88-1~3・6、図89-3、図90-7のように器高が30cmを超えるもしくはみられる大型品などがある。

甕A：口縁部が外傾し、胴部は球形を呈するもの(図88-1)。

甕B：口縁部が外傾し、口唇部近くで屈曲する。胴部は長胴を呈するもの(図89-3)。

壺C：口縁部が屈曲し、胴部が長胴を呈するもの(図89-1・4~6)。

壺D：口縁部が外傾し、胴部は下半に最大径を有するもの(図90-3)。

壺E：口縁部が幅平気味に屈曲し、頸部には段を有する。胴部の長胴化が顕著なもの(図14-2)。

壺の器面調整は、口縁部ではヨコナデ、胴部ではヘラナデ・ヘラミガキ・ハケメなどが施されている。

以上のような特徴から、従来の土器編年(石本1995)・(柳沼1989)に該当するのは舞台式期から栗圓式期にかけてのものであろう。舞台式期に含まれるのは、杯A I・杯B I・杯C・杯E・杯D I・杯F・壺A~C、壺A~Gとみられる。一方、栗圓式期に含まれるのは杯B II・杯D II・杯D III・杯G、壺Hとみられる。遺構でみると、舞台式期が2・3号祭祀跡、栗圓式期が1号祭祀跡、1・5号住居跡とみられる。

次に、1~3号祭祀跡から出土した特徴的な杯についてみてゆく。まず、1~3号祭祀跡では非黒色処理の杯がみられるものの、多少の差がある。最も多いのは3号祭祀跡、次に2号祭祀跡で、1号祭祀跡では黒色処理の杯が多くなっている。さらに、1~3号祭祀跡からは、色調が赤褐色となっているものがみられる。これは器面にベンガラなどの顔料を塗布・定着したのではなく、鉄分を含む胎土を用いて、焼成により発色を生じたとみられる。このような特徴の土師器杯は、天栄村舞台遺跡で杯C I類を赤褐色土器(玉川1981)としている。本遺跡の赤褐色土器とは器形が異なるものの、類例の1つとして挙げられる。

なお、徳定B遺跡第10号住居跡出土土師器杯について鬼高系杯と評価がなされている(菅原2007)。今回の調査においても、杯Eとした図85-1~3が鬼高系杯に相当するとみられる。

#### かわらけ・陶磁器

ここではかわらけ・陶磁器をみてゆく。表16によると、陶磁器よりもかわらけの出土数が多い。

陶器では在地産と非在地産(常滑焼・渥美焼・信楽焼・古瀬戸)があり、在地産よりも非在地産が大半を占め、非在地産のなかでも常滑焼が多い。磁器は青磁と白磁があり、青磁が多く出土している。

**かわらけ** かわらけは手づくね成形とロクロ成形があり、手づくね成形が多い。小皿・皿・杯などがあるが、小皿が多い。

福島県考古学会中近世部会編年(福島県考古学会中近世部会1997)では、3・4期(12世紀末~14世紀前半)に位置付けられる。このなかで、3期前半(12世紀末)の図64-2の皿は手づくね成形で、口縁部にヨコナデ、底部外面に指頭圧痕がみられる。3期後半(13世紀後半)の図64-1・図75-1の小皿、及び図75-5はロクロ成形で、底部外面に回転糸切り痕と板状圧痕がみられる。4期(14世紀前半)はロクロ成形で、図62-1の小皿は浅く体部が直に立ち上がり、図42-13の皿は体部がやや開く器形である。図100-2の小皿は手づくね成形で、底部内面が盛り上がるヘソ皿状となっている。

表16 かわらけ・陶磁器の点数

分類	出土遺構の点数									小計	合計	割合	
	住居跡	建物跡	土坑	井戸跡	溝跡	祭祀跡	小穴	包含層	遺構外			分類別	全体
かわらけ	手づくね成形	2		42	13	47	1	11	1	129	236	57%	
	ロクロ成形	2	1	27	3	45		9	10	97		43%	52%
	小計	4	1	69	16	92	1	20	1	226		100%	
周器	常滑	11		22	7	67		7	4	23	152	77%	
	古瀬戸			6		1				1		4%	
	渥美			1		1				2		1%	
	信楽			1						1		1%	
	在地産	2		5	5	15		2		2		17%	
	小計	13	0	35	12	84	0	9	4	26	183	100%	
磁器	青磁			2	3	7		1	1	1	10	60%	
	白磁	2		3		5						40%	
	小計	2	0	5	3	12	0	1	1	1		25	100%
	合計	19	1	109	31	188	1	30	6	49	434		100%

**陶器** 在地産の器種は、壺系のこね鉢・壺・甕などである。年代は13世紀後半から14世紀前半のものである。

常滑焼の器種は、こね鉢・壺・甕などである。中世常滑焼の生産地編年(永原編1995)での位置付けは、こね鉢が片口鉢I類5型式・片口鉢II類5~7型式、壺が6a・b型式、甕が4・6a~7・9型式などに位置付けられ、その年代は13世紀前半~14世紀前半・15世紀前半となる。その詳細は、図18-2・3が片口鉢I類5型式(13世紀前半)、図16-1が片口鉢II類5型式(13世紀前半)、図42-8、図71-2が片口鉢II類6a~b型式(13世紀後半)、図12-1が片口鉢II類7型式(14世紀前半)となる。壺は図75-6が6a型式(13世紀中葉)、図68-3が6b型式(13世紀後葉)となる。甕は図76-3が4型式(12世紀末葉~13世紀初頭)で押印帯がみられる。図64-9が6b~7型式(13世紀後半~14世紀前半)、図18-1が9型式(15世紀前半)となる。その他、壺もしくは甕の図42-5が6a型式(13世紀中葉)、図64-11・12が6b~7型式(13世紀後半~14世紀前半)となる。

渥美焼は、図65-1の袈裟襷文壺がある。この壺は、渥美窯製品編年(愛知県史編さん委員会編2012)によると、1a型式期(12世紀前半)に位置付けられ、伝世品とみられる。信楽焼は図42-14で、その特徴である石英粒を多量に含む胎土から判断した。小破片のため器種は不明である。

古瀬戸の器種は、平底末広椀・卸し皿・縁軸小皿・折縁深皿・花瓶・水注・瓶子などである。古瀬戸編年(財团法人瀬戸市埋蔵文化財センター1997)では、前期~後期様式(13世紀第4四半期~15世紀初頭)に位置付けられる。

図43-3の平底末広椀は前期様式の13世紀第4四半期。図43-4の卸し皿、図43-5は花瓶II

類、図42-17の水注は中期様式の14世紀前半。図43-1の折縁深皿は中期様式末から後期様式初頭の14世紀中頃～後半。図41-6の縁軸小皿は後期様式I期で14世紀後半。図107-15の瓶子はII類(梅瓶型)で、後期様式前半の14世紀後半～15世紀初頭。

**磁器** 磁器の位置付けは(山本1995)に基づく。青磁と白磁があり、年代は13世紀後半から15世紀前半にかけてのものである。

青磁の器種は、龍泉窯系の碗・盤・杯もしくは皿などである。図65-5～8の躑躅弁文の碗、図43-2の盤は13世紀後半～14世紀前半。図42-19の杯もしくは皿は14世紀後半～15世紀前半。図45-14、図65-4の見込に陰花文のある碗は14世紀前後。

白磁の器種は、碗・皿である。図41-5の口禿碗はIX類、図42-2・4、図65-9・11の皿は13世紀中頃から14世紀初頭。図68-6の皿は14世紀頃とみられる。

### その他の遺物

**木製品** 木製品は1号井戸跡から出土したもので、曲物・火付木・串・井戸枠構成材などがある。このうち、図46-13～16の火付木、図46-17・18の串、図47-1、図50-1・2、図53-1の曲物、井戸枠構成材92点について樹種同定を実施した。樹種同定の結果は、図46-13・14・16の火付木がマツである以外、すべてアスナロであった。井戸枠構成材については、相当数の樹種同定を実施したことから、アスナロを用材としていたものと推定している。さらに、同一の樹種を用いていることから、転用材であったとは考え難い。

アスナロは「ヒノキ科の針葉樹(アスナロ属)で、東北地方に広く分布」「中世に入っても、ヒノキ・アスナロ・マキなどのヒノキ系の材は好まれ、寺社建築ではやはり主要な木材であった。」(海野2022)という。本遺跡の立地がアスナロを調達し易い場所であったことを推測している。

**鉄製獸脚手取釜** 鉄製獸脚手取釜は、1号土坑から出土し、共伴する常滑焼の壺もしくは壺は、胴部の破片であるため詳細な年代までは絞りきれないものの、本遺跡での常滑焼の年代が13世紀前半～14世紀前半・15世紀前半であるので、この年代のいずれかとするとことができよう。本手取釜は茶器として用いられ、底には一文字湯口(写真図版51)がみられ、天明釜やその系譜を引く工人によって作られたと考えられる(降矢2011)。

本遺跡の出土例は現状では他の遺跡からは見出されないものであるが、伝世品では九州国立博物館収蔵品の16世紀後半の獸足手取釜(註1)が知られる程度である。

## 第2節 遺構

### 祭祀跡

1・2号祭祀跡は土師器杯を中心に配置され、3号祭祀跡は多くの土師器杯・壺・壺などが配置

されていた。そのなかでも、石製模造品・土玉・手づくね土器などの出土が僅かである。これが本祭祀跡の特徴である。さらに、東北新幹線関連遺跡調査においても、住居跡から石製模造品・白玉・土玉などが僅かながら出土していることから、住居内での祭祀が窺われる。

なお、5世紀後半～6世紀初頭の祭祀跡が確認された正直A遺跡(福島県教育委員会1994)では多量の石製模造品が出土している。本祭祀跡と比較すると石製模造品の出土量が異なっている。このことは、福島県内の祭祀遺物を集成した高松俊雄氏によると、6世紀中頃には石製模造品を使用する祭祀はほとんどなくなるとの指摘(高松1996)と同じ傾向を示している。

### 中世の遺構

本跡地で確認した中世の遺構は、掘立柱建物跡・住居跡・土坑・井戸跡・溝跡・小穴などである。

掘立柱建物跡では1～4号建物跡が中世に含まれる。そのうち3号建物跡は規模が大きいことから主要な建物であったことが考えられる。なお、1号建物跡に隣接する3号住居跡や3号建物跡に隣接する72号土坑からは、焼けた土壁が多く出土している。このことから、1・3号建物跡は土壁の建物であった可能性が高い。

小穴は掘立柱建物や柱列を構成していた柱穴とみられるが、建物等の復元ができなかったものである。

住居跡・土坑のうち3・4・6～9号住居跡、8・12号土坑については、方形堅穴建物跡と考えている。特徴としては、底面には柱穴がなく、4・9号住居跡のように張り出し部を有するものもある。なお、方形堅穴建物跡は「住居・土倉・工房」(飯村2009)などの機能が考えられている。

溝跡のうち、1～4・6・8～12・14～21号溝跡は中世に属するものである。そのなかでも、15号溝跡は集落の西辺を区画する堀、3・4号溝跡は堀内部を区画する溝と推定している。

溝跡と住居跡・建物跡との関係をみると、1号建物跡と3号住居跡は3号溝跡と、3・4号建物跡と4号住居跡は4号溝跡と、6号住居跡は15号溝跡とほぼ平行する。

なお、郡山市の調査においても中世の溝跡・堀跡・火葬遺構などが確認されている。そのなかでも、第1次調査③の西端で確認された溝跡は、道跡の側溝ともみられる。さらに、第2次調査④で確認された堀跡は、深さが1.7～1.9mと規模が大きなものである。このように、本跡地の広い範囲で中世の遺構が存在していることを示唆している。

### 遺構の変遷

出土遺物の年代観を基に遺構を配置し、さらに重複関係から以下の変遷が辿れる。

古墳Ⅰ期(6世紀後半)：2・3号祭祀跡、1号烟跡

古墳Ⅱ期(7世紀前半)：1号祭祀跡、5号住居跡、2号烟跡

古墳Ⅲ期(7世紀後半)：1・2号住居跡

古代：5・6号建物跡

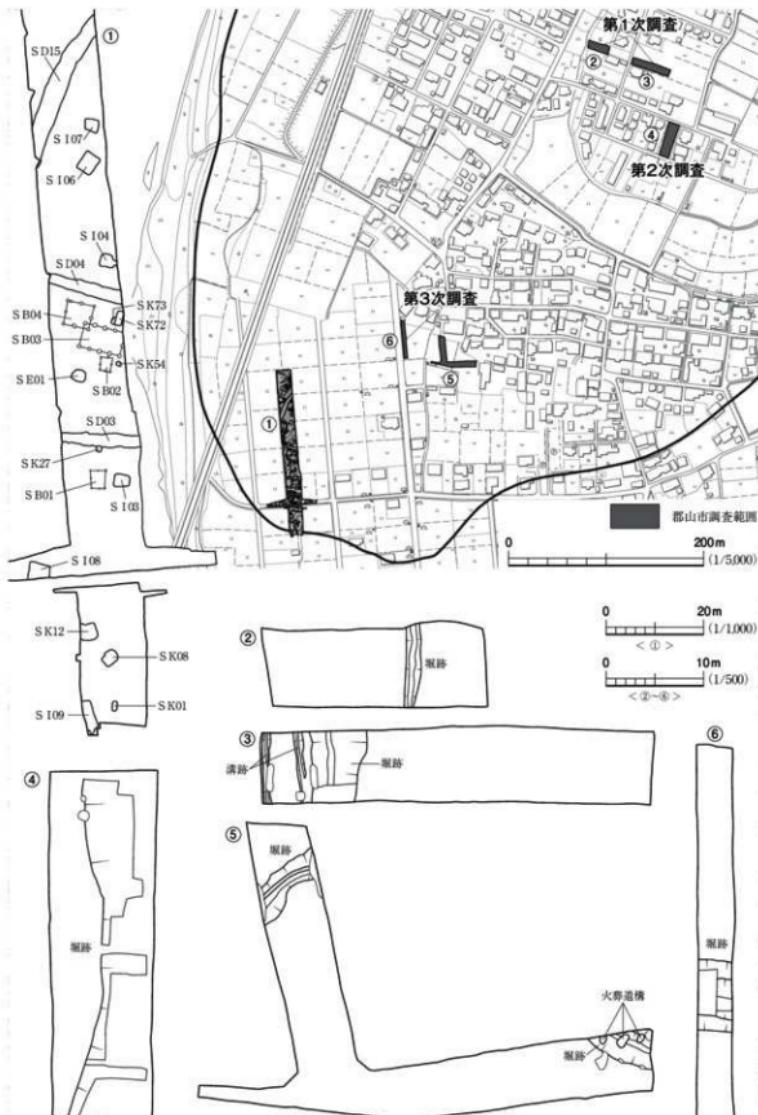


図109 德定A・B遺跡の主な中世の遺構

中世Ⅰ期(12世紀末～13世紀初頭)：3・21号溝跡

中世Ⅱ期(13世紀前半)：8号住居跡、16・43・47・79号土坑、13・14・16・17・20・23号溝跡

中世Ⅲ期(13世紀後半)：3・4・11・15・18号溝跡

中世Ⅳ期(14世紀代)：4号住居跡、6・7・14・15・26・39・49・54・72・73号土坑、1号井戸跡、2～4号溝跡、小穴

中世Ⅴ期(15世紀前半)：9号住居跡、25・27・49号土坑

上記の遺構の変遷のうち、古代については5・6号建物跡からは出土遺物はないが、検出面の状況から該期とした。

中世では、13世紀～14世紀にかけて大半の遺構が含まれる。なお、3号溝跡の存続の長さが目を引く、このことは複数回の改修が行われていることと一致している。なお、1～4号建物跡については小穴と同時期の中世Ⅳ期と推定している。

### 第3節 遺跡の性格

今回の調査では、6世紀後半～7世紀後半にかけての集落跡と12世紀末～15世紀前半の集落跡を確認した。6世紀後半～7世紀後半にかけての集落跡は、東北新幹線関連遺跡調査で確認された集落跡の続きとみられ、6世紀後半～9世紀にかけて存続していたようである。このなかでも、6世紀後半の集落跡では鬼高系杯が出土するなど、関東地方との繋がりがみられる。なお、阿武隈川西岸に位置する郡山市瀬の上遺跡は、本遺跡の対岸にあたる。この1号墳から出土した武具類は、群馬県高崎市綿貫観音山古墳出土資料と関係性が深いとされている。さらに古墳の被葬者が、本遺跡と関係が深い人物であった可能性も指摘されている(横須賀2009)。

12世紀末～15世紀前半の集落は、堀により区画されていたものと推定している。なお、阿武隈川西岸に位置する郡山市荒井猫田遺跡は、12世紀後半～14世紀中頃にかけて存続した町跡・居館跡である。この町跡から出土した陶器(佐藤2022)をみると、在地産よりも非在地産の方が多く、非在地産のなかでも常滑焼が多い。この傾向は、本遺跡と同様である。なお、荒井猫田遺跡から出土した磁器や古瀬戸の器種についても、本遺跡からも類似するものが出土している(表16)。

さらに、本遺跡では陶磁器よりもかわらけの出土点数が多い。かわらけについては、「一般農村には流通しなかった」(藤原1988)のことから、出土する場所が限定される遺物とされる。

以上のことから、当時は希少品であったであろう鉄製獸足手取釜を始めとして、磁器・渥美焼・常滑焼・古瀬戸などの出土品から、荒井猫田遺跡と同程度の生活水準の集落であったことが窺われる。その実態については、今後の調査の進展によって明らかになってゆくであろう。(吉野)

註1 九州国立博物館ホームページの収蔵品ギャラリーで、画像が公開されている。

### 引用・参考文献

- 愛知県史編さん委員会編 2012年「第2節 湿美窯」「愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 常滑系」愛知県
- 浅野晴樹 2001年「3 茶・花・座敷飾り」「図解・日本の中世遺跡」東京大学出版会
- 飯村 均 2009年「4 陸奥南部における中世前期の方形竪穴建物」「中世奥羽のムラとマチ 考古学が描く列島史」東京大学出版会
- 石本 弘 1995年「福島県における律令制成立以前の土器様相とその背景」「東国土器研究」第4号 東国土器研究会
- 海野 啓 2022年「森と木と建築の日本史」岩波新書
- 郡山市 2014年「郡山の歴史」
- 郡山市教育委員会 2014年「徳定A・B遺跡 - 第1・2次発掘調査報告 -」
- 郡山市教育委員会 2015年「徳定A・B遺跡 - 第3・4次発掘調査報告 -」
- 郡山市教育委員会 2016年「徳定A・B遺跡 - 第5・6次発掘調査報告 -」
- 高松俊雄 1996年「福島県における祭祀遺物の様相」「論集しのぶ考古」論集しのぶ考古刊行会
- 玉川一郎 1981年「舞台 - 福島県天栄村における古墳時代集落跡の調査」天栄村教育委員会
- 東北古代土器研究会 2005年「東北古代土器集成 - 古墳後期～奈良・集落編 - 〈福島〉」
- 財団法人鹿戸市埋蔵文化財センター 1997年「研究紀要」第5輯
- 佐藤 俊 2022年「郡山市荒井猫田遺跡とその周辺について」「東北中世考古学会 in 荒井猫田遺跡資料集」東北中世考古学会
- 菅原祥夫 2007年「第Ⅱ章 東北・北海道における6～8世紀の土器変遷と地域の相互関係 ⅱ. 福島県中通り地方中部」「古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究」
- 東北学院大学文学部
- 永原慶二編 1995年『常滑焼と中世社会』小学館
- 中山雅弘 1988年「福島県における中世土器の様相」「東国土器研究」第1号 東国土器研究会
- 福島県教育委員会 1981年「徳定遺跡」「東北新幹線関連遺跡発掘調査報告Ⅲ」福島県文化財調査報告書第92集
- 福島県教育委員会 1994年「正直△遺跡」「母姫地区遺跡発掘調査報告34」福島県文化財調査報告書第288集
- 福島県教育委員会 2020年「荒屋敷遺跡」「一般国道115号相馬福島道路遺跡発掘調査報告8」福島県文化財調査報告書第539集
- 福島県考古学会中近世部会 1996年「かわらけ編年の再検討-11世紀から19世紀」(その1)「福島考古」第37号 福島県考古学会
- 福島県考古学会中近世部会 1997年「かわらけ編年の再検討-11世紀から19世紀」(その2)「福島考古」第38号 福島県考古学会
- 藤原良章 1988年「中世の食器・考(かわらけ)ノート」「列島の文化史」5 日本エディタースクール出版部
- 降矢哲男 2011年「巻頭図版」解説「岩村田遺跡群西一本柳遺跡X図」佐久市教育委員会
- 柳沼賢治 1989年「福島県中通り地方の土師器」「シンポジウム福島県に於ける古代土器の諸問題 -特に5～7世紀を中心として-」万葉の里シンポジウム実行委員会／鹿島町教育委員会
- 山本信夫 1995年「中世前期の貿易陶磁器」「概説 中世の土器・陶磁器」真陽社
- 横須賀倫達 2009年「闇の上1・2号墳出土遺物の調査と研究」「福島県立博物館紀要」第23号

## 付章 自然科学分析

### 第1節 德定A・B遺跡の出土骨について

パリノ・サーヴェイ株式会社

#### はじめに

徳定A・B遺跡(福島県郡山市田村町御代田地内に所在)は、阿武隈川の右岸、郡山盆地最大の沖積地上に立地する。これまで、東北新幹線の建設に伴う発掘調査で古墳時代後期の集落跡が、区画整理事業に伴う発掘調査で縄文時代～中世の遺構・遺物が確認されている。今回、鎌倉時代の遺構から骨が出土したため、その種類等について明らかにすることにし、当時の動物利用について検討することにした。

#### 1. 試 料

試料は、3号溝跡から6試料、15号溝跡から2試料、1号井戸跡から1試料、27号土坑から6試料、合計15試料(TB1～15)である。なお、TB13は、TB13①、TB13②が存在する。大半の試料は遺存状態が悪く、破片となっており、微細片が多く含まれる。

#### 2. 分析方法

2022年6月23日、弊社技師が公益財團法人福島県文化振興財團山下分庁舎にて、出土骨を肉眼および実体顕微鏡を用いて観察し、種類・部位を同定し、写真撮影を行った。

#### 3. 結 果

確認された種類は、硬骨魚綱のタイ科、哺乳綱3種類(イヌ、ウマ、ニホンジカ)、合計4種類である(表17)。いずれの骨も焼けておらず、破片となっているものが多い。同定結果を表18に示す。以下、地点ごとに述べる。なお、骨格各部位の名称については、ウマを例として図110に示す。

##### ・3号溝跡

TB1は、ウマの左肩甲骨である。土ごと取り上げられ、土塊状である。細かな破片となっている。TB2は、ウマの中手骨/中足骨である。遠位端部の破片で

表17 検出動物分類群一覧

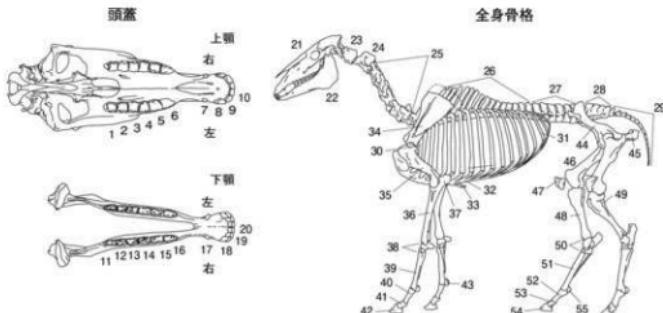
脊椎動物門	Phylum Vertebrata
硬骨魚綱	Class Osteichthyes
柔鰭魚綱	Subclass Actinopterygii
スズキ目	Order Perciformes
ススキ亜目	Suborder Percoidae
タイ科	Family Sparidae
哺乳綱	Class Mammalia
ネコ目(食肉目)	Order Carnivora
ネコ亜目	Suborder Fissipedia
イヌ科	Family Canidae
ウマ目(奇蹄目)	Order Perissodactyla
ウマ科	Family Equidae
ウマ	Equus caballus
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
シカ科	Family Cervidae
ニホンジカ	Cervus nippon

あり、遠位端幅38mm前後と推定される。TB3は、ウマの肩甲骨の破片である。TB1と同一骨

の可能性がある。TB 4 は、ニホンジカの左中手骨近位端である。近位端幅 27.73mm を測る。TB 5・TB 6 は、種類判断できず、大型哺乳類とした。TB 5 が四肢骨、TB 6 が土ごと取り上げられた肋骨の可能性がある破片である。

表18 骨同定結果

出土場所	時代	試料	種類	部位	左 右	状態等	数量	備考
3号溝跡	縄文時代	TB 1	ウマ	肩甲骨	左	破片	1+	土塊状
3号溝跡	縄文時代	TB 2	ウマ	中手骨／中足骨		遠位端片	1+	Bd38.06±
3号溝跡	縄文時代	TB 3	ウマ	肩甲骨		破片	1+	TB 1 と同一骨
3号溝跡	縄文時代	TB 4	ニホンジカ	中手骨	左	近位端	1+	Bp27.73
3号溝跡	縄文時代	TB 5	大型哺乳類	四肢骨		破片	18+	
3号溝跡	縄文時代	TB 6	大型哺乳類	肋骨？		破片	1+	土塊状
15号溝跡	縄文時代	TB 7	イヌ科	上腕骨	左?	両端欠	1+	
15号溝跡	縄文時代	TB 8	ウマ	桡骨	右	両端欠	1+	
1号井戸跡	縄文時代	TB 9	タイ科	主上顎骨	左	破片	1+	
27号土坑	縄文時代	TB 10	ウマ	上顎第2後臼歯	左	略完	1	h 42.32±
27号土坑	縄文時代	TB 11	ウマ	上顎第2前臼歯	右	破片	1+	h 34±
27号土坑	縄文時代	TB 12	ウマ	上顎第4前臼歯	右	破片	1	
27号土坑	縄文時代	TB 13①	ウマ	上顎第3前臼歯？	左	破片	1+	h 38±
27号土坑	縄文時代	TB 13②	ウマ	上顎第2前臼歯	左	破片	1+	
27号土坑	縄文時代	TB 14	ウマ	上顎第2後臼歯	右	破片	1	
27号土坑	縄文時代	TB 14	ウマ	上顎第3後臼歯	右	破片	1	
27号土坑	縄文時代	TB 15	ウマ	上顎歯		破片	11+	
27号土坑	縄文時代	TB 15	ウマ	上顎歯		破片	1+	



- |               |                |            |             |             |
|---------------|----------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 上顎第3後臼歯    | 12. 下顎第2後臼歯    | 23. 第1頸椎   | 34. 肩甲骨     | 45. 尾骨（坐骨）  |
| 2. 上顎第2後臼歯    | 13. 下顎第1後臼歯    | 24. 第2頸椎   | 35. 上腕骨     | 46. 大腿骨     |
| 3. 上顎第1後臼歯    | 14. 下顎第4前臼歯    | 25. 第3～7頸椎 | 36. 热骨      | 47. 雜蓋骨     |
| 4. 上顎第4前臼歯    | 15. 下顎第3前臼歯    | 26. 胸椎     | 37. 尺骨      | 48. 腕骨      |
| 5. 上顎第3前臼歯    | 16. 下顎第2前臼歯    | 27. 腰椎     | 38. 手根骨     | 49. 掌骨      |
| 6. 上顎第2前臼歯    | 17. 下顎大歯（他ののみ） | 28. 仙骨     | 39. 中手骨     | 50. 足根骨     |
| 7. 上顎大歯（他ののみ） | 18. 下顎第2門歯     | 29. 尾椎     | 40. 指骨（基節骨） | 51. 中足骨     |
| 8. 上顎第3門歯     | 19. 下顎第2門歯     | 30. 第1肋骨   | 41. 指骨（中節骨） | 52. 拇骨（基節骨） |
| 9. 上顎第2門歯     | 20. 下顎第1門歯     | 31. 肋骨     | 42. 指骨（末節骨） | 53. 雜骨（中節骨） |
| 10. 上顎第1門歯    | 21. 頭蓋         | 32. 胸骨     | 43. 雜子骨     | 54. 拇骨（末節骨） |
| 11. 下顎第3後臼歯   | 22. 下顎骨        | 33. 側状軟骨   | 44. 宽骨（腰骨）  | 55. 雜子骨     |

図110 ウマ骨格各部の名称（久保・松井(1999)に加筆）

#### ・15号溝跡

T B 7は、イヌ科左の可能性がある上腕骨の破片である。両端が欠損し、骨体部のみが残存する。T B 8は、両端が欠損したウマの右桡骨である。

#### ・1号井戸跡

T B 9は、タイ科の左主上顎骨である。

#### ・27号土坑

いずれもウマの歯で、T B 10が左上顎第2後臼歯(臼歯高42.32mm前後)、T B 11が右上顎第2前臼歯(臼歯高34mm前後)、T B 12が右上顎第4前臼歯、T B 13①が左上顎第3前臼歯?(臼歯高38mm前後)、T B 13②が左上顎第2前臼歯、T B 14が右上顎第2後臼歯・右上顎第3後臼歯・上顎歯の破片、T B 15が上顎歯の破片である。

### 4. 考 察

検出された種類の中で、タイ科は海産性魚類である。福島県内でタイ科は、いわき市の久世原館・番匠地遺跡(野莉家,1993)、綱取貝塚(山崎,1996)、南相馬市の北原貝塚(橋泉,2004)、浦尻貝塚(橋泉,2019)、加賀後貝塚(山崎,2001)、植松C遺跡(中村,2018)、相馬郡の三貴地貝塚(茂原ほか,1988)など、太平洋側の縄文時代の貝塚等で検出されている。鎌倉時代になると、沿岸域で漁獲されたものが、内陸部にも流通していたと考えられる。タイ科の中には、ヘダイ亜科(ヘダイ属・クロダイ属)、マダイ亜科(タイワンダイ属・マダイ属・チダイ属)、キダイ亜科(セナガキダイ属・キダイ属)などがみられるが、内側の形状をみるとマダイに近い。マダイは、太平洋日本列島各地沿岸、北海道以南の日本海などに生息し、マダイの産卵期(2~8月)になると沖合から沿岸域に移動する。本個体は大きさからみて体長40cm程度になる可能性がある。井戸跡から検出されている点を考慮すると、遺構廃棄後に生活残滓として破棄されたと考えられる。

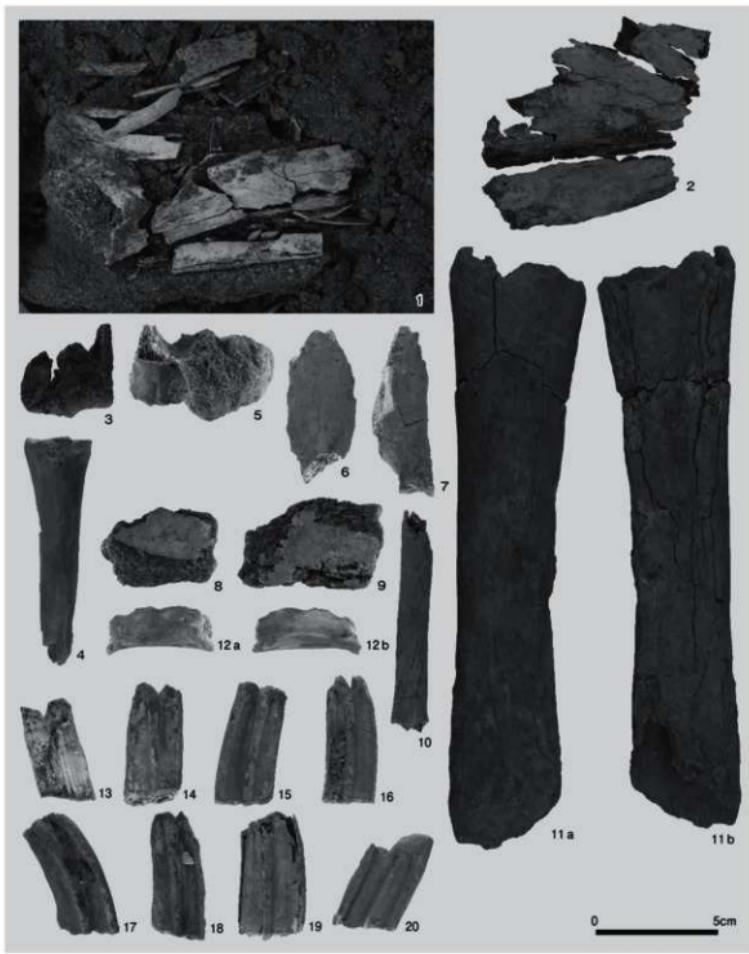
イヌ科はイヌ・キツネ・タヌキの判断ができず15号溝跡から、ニホンジカは3号溝跡から、それぞれ1点のみ検出されている。周辺に生息していたものに由来すると考えられるが、他部位も検出されないため詳細不明である。

ウマは、物資やヒトを運ぶ役割、軍用、農耕用など、多様な用途が考えられる。郡山市の正直A遺跡(櫻井・茂原,1994)で古墳~平安時代、福島市の御山千軒遺跡(森,1983)で奈良・平安時代から検出されている。3号溝跡で左肩甲骨と中手骨/中足骨の一部、15号溝跡で右桡骨、27号土坑で上顎歯が検出されている。大きさからみて、いずれも成獣であると判断できる。3号溝跡で検出される中手骨/中足骨は、西中川ほか(1991)の骨長推定式、林田・山内(1957)の体高推定式からみると、体高110cm程度となり、林田(1974)にしたがうとトカラ馬程度の小型馬に相当する可能性がある。

27号土坑で検出される上顎歯は、重複する部位がみられず、同一個体に由来する可能性が高い。西中川ほか(1991)にもとづき、左上顎第2後臼歯、右上顎第2前臼歯、左上顎第3前臼歯の可能性がある破片の臼歯高から推定される年齢は、8~10歳程度となる。

### 引用文献

- 林田重幸 1974 「日本在来馬の源流、日本古代文化の探求・馬」 社会思想社 p.215–262.
- 林田重幸・山内忠平 1957 「馬における骨長より体高の推定法」 鹿児島大学農学部學術報告6 p.146–156.
- 久保和士・松井 章 1999 「家畜その2—ウマ・ウシ」 西本 豊弘・松井 章編 「考古学と自然科学② 考古学と動物学」 同成社 p.169–208.
- 森 幸彦 1983 「動物遺体」[福島県文化財調査報告書第109集]「東北新幹線関連遺跡発掘調査報告書VI 剣山千軒道路」福島県教育委員会 p.222–223.
- 中村賢太郎 2018 「出土動物遺体の同定」[福島県文化財調査報告書第524集]「県道浪江鹿島線関連遺跡発掘調査報告書1 植松C遺跡」公益財团法人福島県文化振興財団 遺跡調査部 p.313–316.
- 西中川 賢・本田 道輝・松元 光泰 1991 「古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の漸変時期とその経路に関する研究」 平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B研究成果報告書) p.99.
- 野村家宏 1993 「脊椎動物遺体」[いわき市埋蔵文化財調査報告第33冊 久世原館・番匠地遺跡 第1篇－概要・附篇－] 福島県いわき市教育委員会 p.99–105.
- 櫻井秀雄・茂原信夫 1994 「正直A遺跡出土の獸骨」[福島県文化財調査報告書第288集 国営総合農地開発事業 母畑地区遺跡発掘調査報告34 正直A遺跡－下巻－] 福島県教育委員会 p.389–391.
- 茂原信生・大江文雄・桜井秀雄 1988 「三貴地貝塚出土の動物遺存体」[福島県立博物館調査報告第17集 三貴地貝塚] 福島県立博物館 p.495–502.
- 橋泉岳二 2019 「貝類・魚類・両生類・爬虫類・哺乳類」[南相馬市埋蔵文化財調査報告第11集 浦尻貝塚3 第2分冊－自然遺物編－] 南相馬市教育委員会 p.59–126.
- 楳月 学・橋泉岳二 2004 「北原西貝塚の動物遺存体」[小高町文化財調査報告第5集 北原貝塚遺跡群] 小高町教育委員会 p.28–57.
- 山崎京美 1996 「動物遺存体」[いわき市埋蔵文化財調査報告第45冊 網取貝塚－第1・2次調査報告－] 福島県いわき市教育委員会 p.328–343.
- 山崎京美 2001 「加賀後貝塚出土の動物遺存体」[小高町文化財調査報告書第2集 小高町内埋蔵文化財調査報告Ⅰ] 小高町教育委員会 p.48–56.



1. ウマ左前甲骨 (TB 1 : 3号溝跡)
2. ウマ肩甲骨 (TB 3 : 3号溝跡)
3. ウマ中手骨／中足骨 (TB 2 : 3号溝跡)
4. ニホンジカ左中手骨 (TB 4 : 3号溝跡)
5. 大型鷹形類四被骨 (TB 5 : 3号溝跡)
6. 大型鷹形類四被骨 (TB 5 : 3号溝跡)
7. 大型鷹形類四被骨 (TB 5 : 3号溝跡)
8. 大型鷹形類助骨 (TB 6 : 3号溝跡)
9. 大型鷹形類助骨 (TB 6 : 3号溝跡)
10. イヌ科左上腕骨 (TB 7 : 15号溝跡)
11. ウマ右橈骨 (TB 8 : 15号溝跡)
12. タイ科左上腕骨 (TB 9 : 1号井戸跡)
13. ウマ左上腕骨2面臼歯 (TB 132 : 27号土坑)
14. ウマ左上腕骨3面臼歯 (TB 131 : 27号土坑)
15. ウマ左上腕骨2後臼歯 (TB 10 : 27号土坑)
16. ウマ上顎歯 (TB 15 : 27号土坑)
17. ウマ右上顎歯3後臼歯 (TB 14 : 27号土坑)
18. ウマ右上顎歯2後臼歯 (TB 14 : 27号土坑)
19. ウマ右上顎歯4前臼歯 (TB 12 : 27号土坑)
20. ウマ右上顎歯2前臼歯 (TB 11 : 27号土坑)

図111 出土骨

## 第2節 德定A・B遺跡製鉄関連遺物化学分析

株式会社古環境研究所

### 1. はじめに

徳定A・B遺跡は、福島県郡山市田村町御代田に所在し、阿武隈川右岸の沖積地上に立地する。発掘調査において、古墳時代後期の集落跡と中世の集落跡が検出されている。ここでは、当遺跡内での鉄生産の様相を検討する目的で、出土した製鉄関連遺物の分析調査を実施した。

### 2. 調査方法

#### (1) 試料

分析試料は、徳定A・B遺跡から出土した13世紀後半から14世紀前半とみられる製鉄関連遺物3点(TF-1～TF-3)である。分析試料の詳細と調査項目を表19に示す。なお、着磁力反応、金属探知機反応の調査結果も表19に示した。

表19 供試材の履歴と調査項目

試料No	遺跡名	出土位置	遺物名稱	推定年代	計測値		着磁力反応
					大きさ (mm)	重量 (g)	
TF-1		3号溝跡	楕形鍛冶津	13c後半	123×109×54	900	3
TF-2	徳定A・B	4号溝跡	楕形鍛冶津	14c前半	89×102×29	378	2
TF-3		1号井戸跡	楕形鍛冶津		76×72×38	250	2

試料No	金属探知機 反応	調査項目	
		顕微鏡組織	化学分析
TF-1	なし	○	○
TF-2	なし	○	○
TF-3	なし	○	○

#### (2) 調査項目

##### 1) 化学成分分析

###### ① 測定元素

全鉄(Total Fe)、金属鉄(Metallic Fe)、酸化第一鉄(FeO)、酸化第二鉄( $Fe_2O_3$ )、二酸化珪素(シリカ:  $SiO_2$ )、酸化アルミニウム(アルミナ:  $Al_2O_3$ )、酸化カルシウム(ライム: CaO)、酸化マグネシウム(MgO)、酸化カリウム( $K_2O$ )、酸化ナトリウム( $Na_2O$ )、酸化マンガン(MnO)、二酸化チタン(チタニア:  $TiO_2$ )、コバルト(Co)、五酸化磷( $P_2O_5$ )、炭素(C)、ヴァナジウム(V)、銅(Cu)、化合物(C.W.)の18成分を分析した。

###### ② 測定方法

全鉄分(Total Fe)、金属鉄(Metallic Fe)、酸化第一鉄(FeO)：容量法。